週刊 YEAR BOOK

1946
昭和21年

日録20世紀

7/29
平成9年7月29日発行
(毎週1回発行)第1巻第23号
¥560
講談社

「東京裁判」開廷!

関東大震災以上! M8.1の「南海道大地震」
食糧難の焼け跡に続々"闇市"誕生
世界初のコンピュータ「ENIAC」完成

▲東京裁判の法廷。元陸軍省大講堂を改造したもので、正面が判事席、背後には裁判参加11ヵ国の国旗が並ぶ。22年12月26日、東条英機が被告の証言台に立った。 アメリカ国防総省

◎表紙　戦後まもない頃の映画女優・原節子。当時、東京・狛江にあった自宅で撮られた、珍しい写真である。 秋山庄太郎

〝報復〞か日米〝水面下の共同戦線〞か

「東京裁判」開廷！
A級戦犯28人のうち7人に絞首刑宣告

昭和21年5月3日、「日本の侵略戦争を共謀、実行したA級戦犯28人」を裁く「東京裁判」（極東国際軍事裁判）が開廷した。天皇制存続をめぐるGHQと日本側の思惑がからみ合い、2年半にわたったこの裁判は、戦後の日本政治の方向に微妙な影響を与えていく。

▼開廷の日、大型バスで巣鴨拘置所から市ケ谷に向かうA級戦犯たち。前列右から佐藤賢了、荒木貞夫。荒木の左後ろが東条。 アメリカ国防総省

〝勝者による裁判〞の抱えた矛盾と分裂

昭和二一年五月三日、元首相・東条英機（六一）をはじめとする二八人の被告は、巣鴨拘置所からジープに護衛されて裁判所に到着した。午前一一時一七分、裁判長が開廷を宣言すると、法廷に張りつめた空気が流れた。

公判廷は、市ケ谷の元陸軍省大講堂（現在の陸上自衛隊市ケ谷駐屯地）である。約一〇〇坪（三三〇平方メートル）の広間は改造され、南側に裁判官席、北側に被告席、東側が傍聴席と記者席、西側にガラス張りの通訳室が設けられた。シャンデリアのほかに新たに電灯が設置されたが、これは「報道機関への配慮だ」と当時、弁護団の副団長をつとめた清瀬一郎（六一）は指摘している。

起訴されたのは、旧大日本帝国の中枢にいた政治家や軍人らの指導者、いわゆる「A級戦犯」と呼ばれた人々である。判事は、極東委員会を構成する一一ヵ国から一人ずつ任命され、裁判長はオーストラリアのウェッブ判事（五九）がつとめた。アメリカのキーナン首席検事（五八）らの検事団に対し、弁護側は鵜沢総明団長（七三）を筆頭に、清瀬一郎、高柳賢三（五八）などそうそうたる顔ぶれが集まった。この日以降、昭和二三年四月一六日の結審まで〝侵略戦争の共同謀議〞や〝平和に対する罪〞など五五の訴因をめぐり、検事団と弁護団の間で攻防が繰り広げられた。行われた公判は約三七〇回、延べ四一九人の証人が登場し、四三三六通もの書証が受理された。

同じ元陸軍省大講堂で二五人（二八被告のうち三人が病死などで欠けた）の被告に対する判決が読み上げられたのは、二三年一一月一二日――。ウェッブ裁判長の言い渡した判決は、二五人全員が有罪。そのうち絞首刑を宣告された七人は、文官で元首相の広田弘毅をのぞいて全員が陸軍軍人という意外な内容だった。最も注目を集めた東条への判決の瞬間を、九人からなる朝日新聞法廷記者団は『東京裁判』で次のように描いている。

「（東条は）日本語に通訳される言葉を

いちいちうなずいて聞き、『デス・バイ・ハンギング（絞首刑）』（の宣言に）、大きくニヤリと左の口角を崩した。そしてイヤホーンをはずしてチラリと傍聴席へ眼を走らせた。……これでいいんだヨ、と語っているかのごとくであった」

「天皇の免責」をめぐる日米両国の〝共同戦線〟

こうしたA級戦犯の指名と逮捕は、二〇年の一二月六日までに一〇〇人にも達していたが、実を言えば、死亡者にも誤って逮捕状を出すなどGHQのどろ縄ぶりに首をかしげた日本人関係者は少なくなかった。また、多数決によった判決にしても、インドのパル判事の日本無罪論や、ウェッブ裁判長の死刑不当発言が象徴するように、判事の意見はかならずしも一様ではなかった。アメリカの意図を多分に反映したこの判決は――日本国民からは消極的な支持を得られたものの――内外で〝報復裁判〟と呼ばれたのである。

たとえば、同じ敗戦国ドイツで行われたニュルンベルク裁判の場合、裁判長の輪番制など〝四大国（米英仏ソ）の平等〟が一応保たれていたが、東京裁判は連合国最高司令官マッカーサーが主宰し、裁判長や首席判事の任命権も握っていた。

しかし、だからといって勝者が敗者を一方的に裁いたのかといえば、ことはそれほど単純ではない。細菌戦のデータ提供と引き換えに、旧関東軍の七三一部隊を率いた石井四郎軍医中将は免責されたし、最大の攻防だった「天皇に戦争責任を問うや否や」にしても、オーストラリアなどが天皇を追及せよと主張する中、GHQ（連合国総司令部）は裁判前から〝天皇制を利用する〟政策を決めていた。天皇制が共産主義の防波堤になると見たことが大きな理由だった。

「こうした状況の中で、裁判が〝天皇の免責〟という共通の目標を持つGHQと日本の保守勢力（岡田啓介や米内光政など重臣、重光葵や吉田茂などの外務官僚）の〝水面下の共同戦線〟によって進められた」と指摘するのは一橋大学の吉田裕教授だ。

〝共同戦線〟を暗示する、二一年三月六日のボナ・フェラーズ准将（マッカーサーの軍事秘書）と米内の興味深い会見内容を見てみよう。

「連合国の或る国において天皇も戦犯者として処罰すべしとの主張非常に強く、ことに『ソ』は国策たる全世界の共産主義の完遂を企画している。……したがって天皇制とマッカーサーの存在とが大きな邪魔者になっている。……対策としては、天皇が何等の罪のないことを日本側が立証してくれることが好都合である。そのためには……裁判において東条に（自分が強引に戦争を起こしたと）云わせて貫いたい」（豊田隈雄『戦争裁判余録』）

フェラーズ准将が米内に語った内容そのままに、キーナンらの依頼を受けた東条は「いやいや開戦に同意した天皇に戦争責任はない」と陳述。ほかの日本人の供述も、全責任を陸軍軍人にかぶせる点で共通していた。

「保守勢力は、公文書が占領前に湮滅されていて、日本人証言に依存せざるをえなかった状況を逆手にとって、追及が天皇までおよばぬよう尋問に協力し、陸軍軍人に責任を押しつけたのです。たんなる断罪裁判で片づけられないのは、裁判が、アメリカの対日政策の受け皿を形成する親米派をすくいあげるため、日米の政治的な和解を披露するセレモニーという側面をもっていたからです。これにより、日本はアジアに対する加害者責任などの〝矛盾〟を、後世に先送りすることになります」（吉田氏）

日本は、東京裁判という〝お仕着せの戦後処理〟に助けられ、戦争責任についての議論を欠いたまま、目ざましい復興をとげることになったのである。

▲21年11月9日、法廷控え室で碁を打つ白鳥敏夫（右）と佐藤賢了。碁石は、岡敬純が紙をまるめて作ったもの。左端は資料を読む東条。　アメリカ国防総省

▲21年8月16日、証人として宣誓を行う元満州国皇帝・溥儀。

裁かれたBC級戦犯

東京裁判では〝侵略戦争の共同謀議〟などに加わったA級戦犯が被告になったのに対し、捕虜や一般人の殺害・虐待といった「通例の戦争犯罪」「人道に対する罪」で裁かれたのがBC級戦犯である。裁判は、アメリカ・イギリス・フランス・オランダなどの連合国7ヵ国が関係国別に行い、法廷は、マニラ、シンガポール、サイゴン、ラングーンなど計50ヵ所に設置された。末端の兵士にいたるまで訴追されたが、公判期間が平均2日という異例の速さで、判決即処刑というケースも多く、手続き、審理の公正さの面で問題を残した。

BC級裁判は、昭和20年10月29日、マニラでの山下奉文陸軍大将裁判を皮切りに、昭和26年のマヌス島（オーストラリア）裁判をもって終結した。総括すると裁判にかけられた人員が5700人、死刑が984人（実際に執行されたものが920人）、無期は475人、有期は2944人（半強制的に徴用された朝鮮・台湾人も含む）だった。

▲ラングーンで銃殺刑に処せられた日本軍将校たち。　アメリカ国防総省

東京裁判全被告と判決

東条英機……絞首刑
陸軍大将、陸相、内相、首相、参謀総長。

木戸幸一……終身禁固
文相、内相、厚相を経て内大臣。天皇の側近。

梅津美治郎……終身禁固
陸軍大将、関東軍司令官、参謀総長。

岡敬純……終身禁固
海軍中将、海軍省軍務局長、海軍次官。

広田弘毅……絞首刑
駐ソ大使、斎藤・岡田両内閣の外相を経て首相。

平沼騏一郎……終身禁固
検事総長、首相、枢密院議長。国本社総裁。

大島浩……終身禁固
陸軍中将、駐独大使。三国同盟締結を推進。

橋本欣五郎……終身禁固
陸軍大佐、10月事件の主謀者。赤誠会統領。

板垣征四郎……絞首刑
陸軍大将、中国派遣軍総参謀長、陸相。

荒木貞夫……終身禁固
陸軍大将、陸相。2.26事件で退役後文相。

白鳥敏夫……終身禁固
駐伊大使。大島とともに枢軸外交を推進。

重光葵……禁固七年
駐ソ、駐英大使、外相。降伏調印式の政府代表。

松井石根……絞首刑
陸軍大将、華中方面軍司令官として南京攻略。

小磯国昭……終身禁固
陸軍大将、朝鮮総督、拓相、首相。

鈴木貞一……終身禁固
陸軍中将、興亜院総務長官代理、企画院総裁。

賀屋興宣……終身禁固
第1次近衛・東条両内閣の蔵相。

土肥原賢二……絞首刑
陸軍大将、奉天特務機関長、陸軍航空総監。

畑俊六……終身禁固
元帥、陸相、中国派遣軍総司令官。

佐藤賢了……終身禁固
陸軍中将、華南方面軍参謀副長、軍務局長。

松岡洋右……公判中病死
国際連盟脱退時の首席全権、満鉄総裁、外相。

木村兵太郎……絞首刑
陸軍大将、陸軍次官、ビルマ方面軍司令官。

東郷茂徳……禁固二〇年
駐独、駐ソ大使、東条内閣の外相兼拓相。

嶋田繁太郎……終身禁固
海軍大将、東条内閣の海相、軍令部総長。

永野修身……公判中病死
元帥、海相、連合艦隊司令長官、軍令部総長。

武藤章……絞首刑
陸軍中将、参謀本部作戦課長、軍務局長。

南次郎……終身禁固
陸軍大将、陸相、関東軍司令官、朝鮮総督。

星野直樹……終身禁固
満州国総務長官、東条内閣の内閣書記官長。

大川周明……精神障害で免訴
猶存社、行地社結成。国家主義運動の指導者。

写真・アメリカ国防総省（松岡洋右をのぞく）

関東大震災以上のマグニチュード8.1 終戦1年目の“自然の追いうち” 「南海道大地震」死者・不明者1443人!

▲津波の被害は九州から房総半島沿岸にまでおよび、震害を上回った。

戦争の傷も癒えぬ昭和二一年、年の瀬を迎えた一二月二一日未明の四時一九分、四国地方を中心に中部地方から九州までの広い範囲を巨大地震が襲った。沿岸には雷鳴とともに津波が押し寄せて被害が拡大、全国で死者・行方不明者一四四三人を出す大災害となった。

師走の南海道一帯が一瞬のうちに地獄絵

一二月二一日未明、関東大震災をもしのぐ、マグニチュード八・一の大地震が「ゴーッ」という地鳴りとともに暗闇の街々に襲いかかった。「西日本に大地震……雷鳴とともに津波、生地獄宛ら」と、翌日の「朝日新聞」は一面トップで各地の惨状を伝えた。

「本当に命拾いしました。最初に激しい横揺れがきたかと思うと、次は天と地が引き裂かれるような縦揺れ。気がついたら、家は一階部分が崩れ落ち、二階部分が道路の真ん中にほうり出されていました。復旧も大変で、棺がないため、身元のわからない死体などは四万十川の川原に運び石油をかけ火葬に付すなど、悲惨でしたよ」

高知県中村町(現・中村市)消防団の副班長だった森本兼馬さんは現在九〇歳。当時を振り返りこう語る。

最も被害が大きかった高知県の中でも、中村町は惨状をきわめた。地震発生直後

▲水浸しと火災で惨状をきわめる和歌山県新宮市。新宮市は死者58、負傷者245、罹災人口8309人という大被害を受けた。19年12月7日の東南海地震でも震災をこうむり、また戦時中の米軍の空襲・艦砲射撃の戦禍と、うち続く災害で新宮の街は焼け野原と化した。 共同通信社

に火災が発生、家屋の倒壊のため消防車の通る道は塞がれ、水道の破損で消火もままならず、二二七二戸の住居のうち六六戸を焼失、全壊・半壊も含め全戸数の九割が被害を受け、死者の数は二七二人にもおよんだ。

また和歌山県の新宮市では午前四時四〇分、市内の歓楽街付近から火の手があがり、折からの強風にあおられ、あっという間に市内は火の海と化し、総戸数約七〇〇〇戸の六割が全焼してしまった。

住む家を失った人々は残った板や木材で仮小屋を作り雨露をしのいだり、倒壊をまぬがれた学校や神社に身を寄せ合い、厳冬の中を耐え抜いた。

津波で被害が拡大！浸水三万三〇九三戸

「南海道大地震」と呼ばれるこの地震の震源地は、高知の東南東約二五〇キロ、潮岬南南西五〇キロ、震源の深さが二〇キロの地点。紀伊半島から四国沖にかけて、九〇年から一五〇年の周期で起こる大地震のひとつで、太平洋の地殻プレートがフィリピン沖プレートに滑りこみ、その歪みが一気にもとに戻る時に引き起こされたものである。

被害は、四国、九州、近畿、中国、中部地方の一部という広範囲にまたがり、全国で死者一三三〇人、行方不明一一三人、負傷者三八四二人を数えた。また、全壊家屋は九〇七〇戸、半壊家屋は一万九二〇四戸、道路や橋梁などの損壊は二三〇〇ヵ所にものぼった。

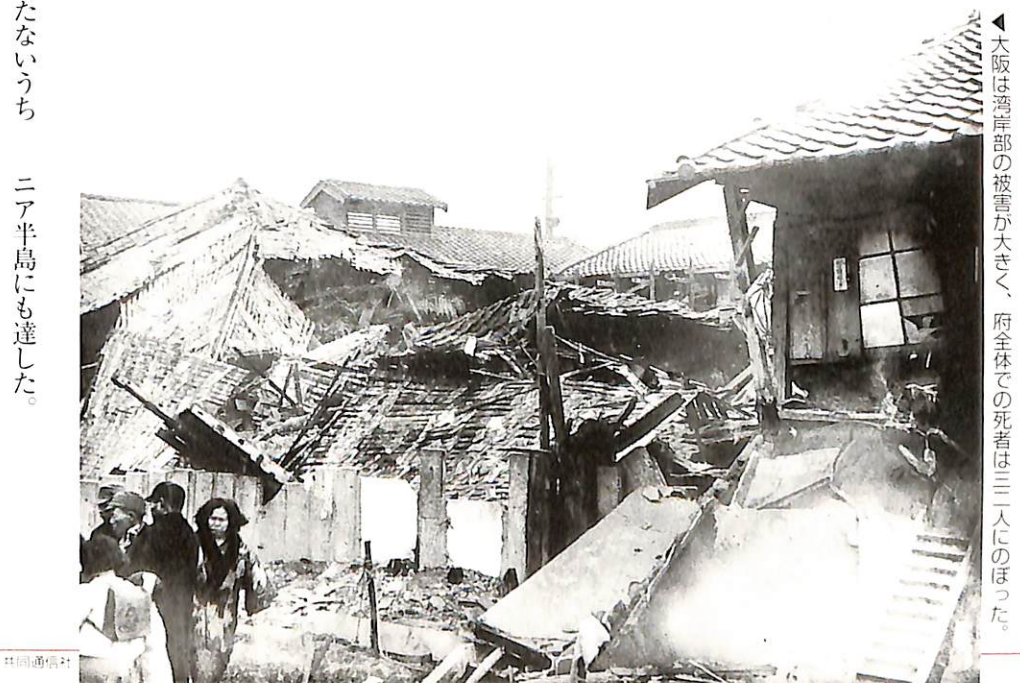
被害をさらに大きくしたのは津波である。地震発生後、早いところでは一〇分たたないうちに、高さ六メートルを超す津波が防波堤をなんなく乗り越えた。

高知市の西に位置する須崎町（現・須崎市）などでは、津波が川をのぼり奥へ奥へと浸入して山手まで押し寄せ、おびただしい数の木材を押し流し、激流となった引き潮に多くの人がのみこまれて亡くなった。

高知、三重、徳島と広い範囲を襲った津波による被害は、全国で流失家屋一四五一戸、浸水家屋三万八八七九戸、船舶の流失ないし破損は二三四九隻にもおよび、その余波は遠くハワイやカリフォルニア半島にも達した。

災害の復興は戦後の物資不足のためなかなかはかどらなかったが、全国から寄せられた義援金とともに、占領軍が、毛布や食糧、医薬品などの救援物資だけではなく、トラックや飛行機なども出動させ支援活動を行った。またローマ法王ピオ一二世からの救援資金など、世界中から救いの手がさしのべられ、被災した人々に届けられた。

「南海道大地震」は、戦争の傷跡がいまだ深く残り、復興への足がかりをつかもうとしていた日本にとって、実に大きな〝自然の追いうち〟であった。

▲高知市堺町で、倒壊したビル。同市は死者231人、全半壊家屋3000戸を数え、地盤沈下がはなはだしかった。　高知新聞社

◀大阪は湾岸部の被害が大きく、府全体での死者は三二人にのぼった。　共同通信社

女たちの肖像

皇太子に民主教育を！ヴァイニング夫人が残した「良きアメリカ」の原像

稲葉真弓

この年の一〇月一六日、新聞各紙に「マリーン・ファルコン号でヴァ夫人ら来朝」という記事が載った。「ヴァ夫人」なる人こそ当時一二歳だった明仁皇太子（現天皇）の英語教師として任命されたエリザベス・グレイ・ヴァイニング（四四）であった。

任命したのは昭和天皇自身である。昭和二一年春、アメリカの教育使節団の一行が教育制度を調査するために訪日した際、天皇は使節団の団長ジョージ・ストダード博士に「皇太子のためにアメリカ人の家庭教師を世話してもらえないか」とみずから申し入れたが、それは、これからの日本のために、皇太子にデモクラシー教育を受けさせたいという考えがあったからだという。アメリカではただちに人選が始まり、敬虔なクエーカー教徒、作家であり優れた教育者でもあるヴァイニング夫人に白羽の矢が立ったのである。

夫人は個人教授のほかに、学習院中等科でも英語を教えたが、その授業は斬新なものだった。彼女は、他人の決定に慣れた皇太子の受け身な態度を改めるために「さあ、何から始めましょう」とみずから決断する姿勢をうながし、中等科では、クラス全員の生徒に英語の名前をつけた。ちなみに皇太子のニックネームは「ジミー」だった。

後に皇太子は、夫人の民主教育について「良きアメリカを感じる。それはアメリカ建国の精神と言ってもよい」と述べたといわれるが、広く世界に関心と興味がおよぶように皇太子の人間形成を助けたほか、皇后、内親王たちの英語のレッスンも依頼され、最初は一年の契約だったのが、四年余日本に滞在することになった。皇太子にマッカーサー元帥との会見を勧めたのも夫人だった。異例の会見を実現させた夫人の人柄について、皇太子の教育参与だった小泉信三は、「一人の婦人が外国に来て、その国の宮廷と一般国民に、これほど信頼された例を、私はほかに知らない」と深い尊敬の念のこもった言葉を寄せている。

夫人は昭和二五年一二月に帰国。二七年、日本滞在記『皇太子の窓』を著したが、この本はベストセラーとなり世界五二ヵ国で翻訳された。三四年の皇太子ご成婚の折には招かれて来日、かつての学習院の教え子一一〇人との同窓会に出席したほか、式典にただ一人の外国人として参列した。

◀皇太子に英語を教えるヴァイニング夫人。25年には、勲三等宝冠章を受章した。

アメリカ国防総省／月刊沖縄社

勝者・敗者

戦後プロ野球のヒーロー〝青バット〟大下弘がグラウンドにかけた「虹」

阿部珠樹

敗戦から三ヵ月。昭和二〇年一一月二三日の神宮球場には、六〇〇〇人を超える観客が詰めかけていた。いち早く復興ののろしを上げたプロ野球の戦後最初の試合、東西対抗戦を見るためである。

戦前のプロ野球は学生野球に比べるとまったく人気がなく、観客が二〇〇〇人も集まれば上々だった。それが三倍もの観客が押し寄せたのだ。敗戦国の国民が、いかに明るい娯楽に飢えていたかがしのばれる。

グラウンドには、戦火をかろうじてくぐり抜けてきた戦前の名選手たちが顔をそろえた。しかし、観客の目をクギづけにしたのはまったく無名の白面の青年、大下弘（二三）だった。この日、東軍の五番に入った大下は、まだ改修前の大きな神宮球場の右翼フェンスに直接ぶちあたる大三塁打を放った。高く放物線を描いて伸びる大下の打球は、まるで虹のようだった。

続く一二月一日の西宮球場での東西対抗では、今度は右翼席にきれいに舞い落ちる大ホームランを放った。いずれの当たりも、それまでの観客が目にしたことのない、豪快で、しかも美しい打球だった。

この活躍で、大下は一躍戦後プロ野球のヒーローになる。そしてこの年、昭和二一年にはホームラン二〇本を放って、戦後初のタイトルを獲得する。それまでの日本の野球は、ボールの質が悪かったこともあり、ホームランはめったに出なかった。大下以前の記録はシーズン一〇本。それをこの天才打者は一気に倍増させてしまったのである。彼の出現がいかに画期的だったかがわかる。

大下は戦前はリーグ戦にもほとんど出場したことのない補欠選手だった。それが戦後、次々に大きな打球を放つところを明治大学の先輩でセネタースの監督だった横沢三郎にみいだされ、プロ入りした文字どおりのシンデレラボーイだった。その後、大下は青く塗ったバットで、赤バットの川上哲治と人気を二分し、プロ野球の屋台骨を支える選手に成長していく。

▲通算打率3割3厘、本塁打201本で34年に引退。天衣無縫の人柄で知られた。　日刊スポーツ

1月

◀帰ってきた野坂参三(1月26日)中国共産党の本拠地・延安で終戦を迎えた日本共産党古参幹部が16年ぶりに帰国。この日、東京・日比谷公園で歓迎国民大会が開かれ、文化人・労働者ら約3万人が集まった。

共同通信社

▲「殺人酒」にご注意(1月29日)前年来、メチルアルコール混入の酒が出まわり、失明や死亡者が相次いだ。写真は銀座松坂屋の「お酒の相談所」。警視庁と薬剤師会が無料検査をした。

毎日新聞社

▲警察官、拳銃携行(1月31日)GHQ(連合国総司令部)が16日に射殺権とともに容認。この日、東京駅近くでの拳銃強盗事件が初出動(写真)。3月には軍需物資を盗もうとした男に発砲された。

国連広報センター提供

◀国際連合、ロンドンで初総会(1月10日)第2次大戦戦勝国51ヵ国を中心に前年10月に発足した。アトリー英首相が「原子力処理は人類死活の大問題」と開会演説。

WWP

▲中国、内戦停止(1月10日)国民党軍と共産党軍が合意に達したが、3月には早くも均衡が破れた。写真は延安を訪れた斡旋役のマーシャル米特使(左から二人目)と右から毛沢東、張治中、朱徳、周恩来。

昭和21年1月

- 1(火)●天皇、みずからの神格を否定する「人間宣言」。●「世界」「展望」などがこの日づけで創刊。
- 2(水)●鎌倉・鶴岡八幡宮の初詣で客が例年より半減。
- 3(木)●日本の食糧不足三〇〇万トンと米陸軍省報告。
- 4(金)●GHQ、軍国主義指導者の公職追放を指令。
- 5(土)●東京西部に占領軍兵士の集団強盗が続発。
- 6(日)●ポーランド、全産業の国有化を宣言。
- 7(月)●農地審、府県別の地主の保有許可面積を決定。●日本起重機および電業舎、社員の六倍賃上げ要求を容認。
- 8(火)●東京で銭湯の大混雑続き、本郷区では制止を無視した男女一〇〇人が混浴。●ドレスメーカー女学院が戦後初の入学者募集。
- 9(水)●連合国極東委員会代表一行一四人が来日。
- 10(木)●東京で紙芝居が復活。景品は煎餅と芋飴。●五一ヵ国が参加し第一回国連総会開幕。●中国、国民党と共産党が内戦停止に合意。
- 11(金)●「玉砕」の島テニアンから七〇五人が帰国。
- 12(土)●民主主義科学者協会(会長・小倉金之助)創立。●亡命一六年の野坂参三、中国・延安から帰国。
- 13(日)●タバコの「ピース」発売。一〇本入り七円。
- 14(月)●商工省、ラジオの生産目標三一四万台と発表。
- 15(火)●ラジオで「復員だより」放送開始。●青函連絡船の一・二等がGHQ専用になる。
- 16(水)●GHQ、警官の拳銃携帯を条件つき許可。
- 17(木)●大阪市の闇市一斉調査。一日で米一三八俵、パン一万五四二五個消費。
- 18(金)●米軍紙が「南朝の末裔」熊沢寛道を紹介。
- 19(土)●ラジオで「のど自慢素人音楽会」放送開始。
- 20(日)●総同盟関東金属労組結成。組合長に荒畑寒村。
- 21(月)●朝日新聞社、夏の甲子園大会復活を社告。
- 22(火)●東京・板橋区の造兵廠跡で大量の隠匿物資発見。人民管理で住民二〇〇〇人に配給。
- 23(水)●神社本庁、設立(神社数は一一万社)。
- 24(木)●GHQ、公娼を認めるすべての法規を撤廃。
- 25(金)●代用燃料車からガソリン車への転換禁止。
- 26(土)●初の食糧輸入船がフィリピンから東京に入港。
- 27(日)●関東地方労働組合協議会結成。三二万人参加。
- 28(月)●東京都教員組合、生活改善求め教員初のデモ。
- 29(火)●GHQが琉球列島・小笠原諸島などに対する日本の行政権を停止。
- 30(水)●横浜で「夜の女」摘発。一三人中一一人が病気。
- 31(木)●GHQ、ソ・中は日本占領不参加と発表。●復員輸送船(戦後初の造船)、進水。

ニュース・ファイル 1946

フォト+日録で再現する365日

「人間宣言」をした天皇は、直接国民を慰め、復興努力を励ますため、全国各地を巡幸する。GHQ(連合国総司令部)は民主化方針により、婦人に参政権を与え、新憲法を公布させた。しかし敗戦のダメージは大きく、食糧難やインフレにあえぐ庶民の暮らしは苦しかった。

◀「ピース」に長蛇の列(1月13日)日曜・祭日のみ一人1箱の制限つきで自由販売になった。1日4本の配給ではものたりず、タバコに飢えた人々が詰めかけた。10本入り7円で箱の意匠は一般公募。銀座にて。

共同通信社

▼新円切り換え（2月17日）急進するインフレに対して、政府は預金封鎖を行って新円を発行する緊急措置に踏み切った。新円は十円と百円の2種。発行が間にあわず、旧円に証紙を貼った新円も多かった（写真）。

共同通信社

▲天皇巡幸（2月19日）この日の横浜・川崎両市を皮切りに（写真）、昭和29年の北海道訪問まで「人間天皇」は全国の人々と接した。折々に発する「あっ、そう」は流行語となった。

共同通信社

▲「カムカム英会話」開始（2月1日）ラジオが月〜金の午後6時から15分間放送。「証城寺の狸ばやし」にのった軽快なテーマソング、講師・平川唯一の巧みな話術が英語ブームに拍車をかけた。

月刊沖縄社

▼ダグラスかロッキードか（2月5日）トランスワールド航空がL-049をニューヨーク発パリ行き定期便に就航。DC-4の独壇場だった路線にロッキード社機が登場した。

共同通信社

▲農村での文化活動（2月25日）敗戦後、農村では若者たちの復員が相次ぎ、娯楽が少ないため、疎開していた知識人なども加わって音楽や演劇がさかんになった。写真はある農村慰安会での演劇。

共同通信社

昭和21年2月

1（金）●第一次農地改革実施。
●軍人恩給が停止される（28年復活）。
●平川唯一の「カムカム英会話」放送開始。
2（土）●ラバウル引揚げ第一船「氷川丸」が浦賀出港。
3（日）●マ元帥、GHQ民政局に憲法草案作成を指令。
4（月）●都内中学生に一万二〇〇〇足の革靴配給。
5（火）●戦後初の七帝大総長会で南原繁東大総長が女子に門戸開放と表明。
6（水）●近藤憲二・岡本潤ら日本アナキスト連盟結成。
7（木）●出口王仁三郎、大本教を愛善苑として再建。
●山下奉文の死刑確定発表（23日絞首刑）。
8（金）●北朝鮮臨時人民委員会設立。委員長・金日成。
●憲法改正松本試案、GHQに提出。
9（土）●閣議、公職追放令該当者の範囲を発表。
●日本農民組合再建結成。供出強制に反対。
10（日）●原料高騰でガス料金が全国平均七倍の値上げ。
11（月）●三〇〇団体が加盟し関東食糧民主協議会結成。
●岩波茂雄・仁科芳雄らに戦後初の文化勲章。
●米英ソ、ヤルタ秘密協定の全文を公表。
12（火）●警視庁、退蔵物資の一斉取締りを開始。
●貴金属・宝石類を日銀から第八軍へ引き渡し。
13（水）●GHQ、松本試案を拒否し憲法草案を提示。
14（木）●食生活自衛のため学生食堂連合会設立。
15（金）●米国で世界初のコンピュータENIAC完成。
16（土）●元「満州国」皇帝・溥儀がシベリア監禁と報道。
17（日）●金融緊急措置令公布施行。預貯金の封鎖と新円切り換え（3月3日旧円の流通禁止）。
18（月）●GHQ、文部省の教科書認定権を廃止と発表。
19（火）●天皇、全国巡幸の皮切りに神奈川県訪問。
●松本治一郎らが部落解放全国委員会を結成。
20（水）●ソ連、千島・南樺太の領土編入を宣言。
21（木）●警視庁、婦人警官の募集を開始。
●京都帝大経済学部の全教官が戦争責任を認め辞表提出。
22（金）●自由党総裁・鳩山一郎、反共連盟結成を提唱。
23（土）●中等学校五年制、高校三年制が復活。
24（日）●タバコの「コロナ」発売。一〇本入り一〇円。
●東京宝塚劇場をアーニーパイル劇場と改称。
25（月）●玄洋社など軍国主義四五団体に解散命令。
26（火）●対日政策の決定機関、極東委員会が初会議。
27（水）●国鉄労働組合総連合会結成。五一万弱を組織。
28（木）●東京・山手線でGHQ専用車両の運行開始。
●戦後初の米映画「春の序曲」「キュリー夫人」封切（入場料一〇円、邦画三円）。

▼婦人警官デビュー（3月18日）戦前の特高警察の暗いイメージを払拭しようと、警視庁が全国の警察に先駆けて初の婦人警官63人を採用した。彼女たちは1ヵ月の講習の後、交通整理などの任務についた。

▲婦人民主クラブ旗揚げ（3月16日）対日政策の柱に「婦人解放」を掲げるGHQが指示。宮本百合子らが東京・神田の共立講堂で開催した大会で結成。左から佐多稲子、山室民子、二人おいて加藤シヅエ、羽仁説子。

毎日新聞社

読売新聞社

◀生糸の再輸出開始（3月16日）食糧放出の見返りとしてGHQが指令。この日、横浜で米船「マリーン・ファルコン号」に20万ポンドの生糸が積みこまれ、米国に向かった。写真は横浜市と復興会共催の5年ぶりの輸出再開を祝う交歓会。

共同通信社

▲DDT散布計画発表（3月7日）この頃日本では発疹チフス、天然痘などの伝染病が蔓延、GHQはこれをノミ、シラミなどの繁殖が原因とみなし、強制散布に乗り出した。写真は上野駅地下道でDDTの粉をたっぷりあびた浮浪者の母子。

毎日新聞社

◀「青空教室」（3月）戦災で都心の学校の多くが廃墟になった。渋谷区の鳩森国民学校も滑り台が1基残っただけの惨状。写真は明治神宮外苑まで「遠足」して授業を受ける児童たち。校舎ができたのは敗戦後1年、8月になってからだった。

昭和21年3月

1（金）●労働組合法施行。
●大蔵省、封鎖預金のうち住宅購入用に五〇〇〇円まで払い戻しを認可。
●国鉄運賃値上げ。旅客は二・五倍、貨物三倍。
●第一回日本美術展「日展」が開かれる。
2（土）●シラミ退治のため都のDDT散布班が出動。
3（日）●「新円生活」始まる。月五〇〇円が標準生活費。
●物価統制令公布（消費者米価一石二五〇円）。
4（月）●日本放送協会、「NHK」のサイン使用開始。
5（火）●チャーチル、ソ連を「鉄のカーテン」と非難。
6（水）●政府、憲法改正草案を発表。マ元帥、承認。
●初のスポーツ紙「日刊スポーツ」創刊。
●仏、ベトナム民主共和国の自治を承認。
7（木）●警視庁、氾濫する偽造外食券数万枚を押収。
8（金）●浅草で代用甘味料（原子爆弾糖）による中毒死。
9（土）●一〇万都市への転入が五月末まで禁止される。
10（日）●高崎市民オーケストラ（後の群馬フィルハーモニー）が第一回定期演奏会。
11（月）●大西愛治郎、天理本道（後のほんみち）を再建。
12（火）●警視庁、重さ不明の野菜の「一山売り」を禁止。
13（水）●一三〇〇円分紙幣偽造の東京の中学生を逮捕。
14（木）●衆院選で政見ラジオ放送。国政選挙で初めて。
15（金）●歌舞伎俳優の片岡仁左衛門一家を食べ物の恨みから同居人が惨殺。
16（土）●宮本百合子・松岡洋子ら婦人民主クラブ結成。
17（日）●名古屋市の東山動物園が再開される。
18（月）●初の婦人警察官入所式。六三人が採用される。
19（火）●俳優座第一回公演開幕。ゴーゴリ作「検察官」。
●東宝労組、ストに突入（第一次東宝争議）。
20（水）●東京駅地下道に寝台車風簡易ホテルが完成。
21（木）●「バターン死の行進」の本間雅晴の死刑確定。
22（金）●米第八軍司令官、米兵が日本女性に「公然と愛情表現」を行うことを禁止と指令。
23（土）●宮城県女川港で定期船が転覆。一一七人死亡。
●米からの輸入小麦製パンを都民一人二斤配給。
24（日）●初のカリフォルニア米輸入船が横浜入港。
25（月）●占領軍兵士からタバコなど購入の四一人検挙。
26（火）●日本出版協会の七社粛清に反対し講談社など二十数社が脱会（4月5日自由出版協会設立）。
27（水）●GHQ覚書により占領軍慰安所をすべて閉鎖。
28（木）●タバコ闇売りの一斉摘発で七千余本押収。
29（金）●預金封鎖強化。払い戻しは月一〇〇円に。
30（土）●米ソ共同委員会中間報告（朝鮮三八度線維持
31（日）●発疹チフスが激増し死亡率も急上昇と新聞に。

毎日新聞社

共同通信社

読売新聞社

▲**プロ野球、戦後初の公式戦開幕(4月27日)**金星・近畿・巨人・阪神・阪急・セネタース・太平・中部日本の8球団。写真は当時の巨人軍。メンバーがそろわず、野手の千葉茂が投手を兼ねたりした。

▲**マッカーサー暗殺未遂(4月30日)**手榴弾と拳銃を使って5月1日に殺す計画が発覚。この日、18歳の少年が逮捕された。自供によれば共産党の信用を失わせるのが目的だったという。

◀**メーデー、11年ぶり復活(5月1日)**東京の宮城前広場には約50万人が参集、「民主人民戦線即時結成」「働けるだけ食わせろ」などのプラカードや赤旗が林立、労働者の熱気があふれた。

▼**宝塚歌劇再開(4月22日)**米軍に接収されていた大劇場が戻り、戦後初の舞台が開幕。歌劇「カルメン」、レビュー「春のをどり(愛の夢)」(写真)にヅカファンは久しぶりに酔った。

毎日新聞社

▲**4党代表「幣原後」を協議(4月26日)**7日の内閣打倒人民大会や10日の総選挙の結果、幣原内閣は22日に総辞職。社会党の提唱によって集まった各党代表。左端はオブザーバーの野坂参三。

宝塚歌劇団提供

昭和21年4月

1(月)●国立大授業料が二・四倍の三六〇円に値上げ。●小型三輪車「ダイハツSE型」の製造再開。●トリスウヰスキーが発売再開される。
2(火)●ブラジルで敗戦を信じない日系青年がテロ団を組織し、すでに実業家二人殺害とAP電。
3(水)●総選挙に小党乱立、政党数二五六で一人一党が一八四と新聞に。
4(木)●米軍、魚缶詰一〇〇万ポンドを引き渡すと発表。
5(金)●中国からの引揚げ船にコレラ患者発生(乗員を二ヵ月間海上に隔離)。
6(土)●「満州」からの初の集団引揚げ船が博多入港。●国技館が接収され占領軍の体育館に。
7(日)●幣原内閣打倒大会で七万人が首相官邸にデモ。
8(月)●国民学校で最後の入学式。運動靴を特配。
9(火)●GHQ、米軍が総選挙の投・開票監視と発表。
10(水)●第二二回衆議院総選挙(女性三九人が当選)。
11(木)●GHQ、日本製ペニシリン販売を二社に許可。
12(金)●総選挙の棄権率は二七・七%と閣議報告。
13(土)●皇族唯一の戦犯容疑者・梨本宮守正釈放。
14(日)●ラジオ体操が一八年ぶり変更され舞踊体操に。
15(月)●ダンサー・女給に週一回の性病検査義務づけ。●ちり紙配給発表。大都市では一人五〇枚。
16(火)●政府、発禁処分受けた図書を解禁と通牒。
17(水)●新日本興業、戦後初の株式公募を行う。
18(木)●政府、官庁の公用文に口語体採用と発表。●政府、ひらがな口語体の憲法草案を発表。
19(金)●文部省、軟式野球のボール一万ダースを配布。●米海軍、東京湾で金塊一〇三本を引揚げ。
20(土)●銀座復興祭始まる。二〇〇店中一五〇店復興。
21(日)●明治神宮で占領軍一千余人が復活祭の礼拝。
22(月)●沖縄中央政府創設(初代知事・志喜屋孝信)。●幣原内閣、総辞職。●宝塚歌劇が戦後第一回公演。演目「カルメン」。
23(火)●都、緊急食糧配給。こんにゃく一枚と凍り豆腐。●「サザエさん」が「夕刊フクニチ」で連載開始。
24(水)●深刻な主食遅配、半月で飢餓状態と新聞に。
25(木)●女性議員二七人が婦人議員クラブを結成。●今井正監督「民衆の敵」封切。
26(金)●土方与志らが新演劇人協会を結成。
27(土)●プロ野球公式戦再開(19年9月以来中断)。
28(日)●日本物理学会第一回年会、開催。
29(月)●GHQ、A級戦犯二八人の起訴状を発表。
30(火)●経済同友会、創立。代表幹事・諸井貫一。●マ元帥暗殺企図容疑で一八歳の少年逮捕。

共同通信社

証言・あの日この日
児玉誉士夫(34)

1月25日(金) 〈……軍医官が通訳を通じて「チンポを絞って」といい、性病の有無を調べたときのこと、宮様をはじめ大将でも大臣でもみな同じようにされた筈だが、そのとき、どんな顔をしたろうかなどと考えたら、思わずニヤリとさせられた〉(児玉誉士夫『獄中獄外』)

A級戦犯だった児玉誉士夫の巣鴨拘置所の第1日目の日記中に見られる記述だ。宮様というのは梨本宮のこと。ほかにも木戸幸一や正力松太郎、大川周明、岸信介などそうそうたるメンバーが登場する。後に(4月6日)、やはり拘置所仲間だった東条英機に、〈あなたも這入るとき裸になって軍医から「チンポを絞って」と言われましたか、ときくと〉、東条は、〈僕もやられた。宮様もその通りだから仕方がないが、この老人をつかまえて性病の有無はひどいよ〉と苦笑しながら答える。(坪内祐三)

共同通信社

▲**婦人議員39人誕生(5月16日)**4月10日、女性が初めて投票した新選挙法による総選挙が行われ、79人の婦人候補のうち、加藤シヅエ、松谷天光光、山口シヅエら39人が当選。最後の帝国議会となった議場は女性の進出でいっきょに華やいだ。

▶**第1次吉田茂内閣成立(5月22日)**GHQから公職追放された鳩山一郎は、幣原内閣の外相・吉田茂を自由党総裁後継者とし、吉田は進歩党と連立して内閣を組閣。幣原内閣総辞職以来1ヵ月の空白にピリオドを打った。写真は翌年1月頃の吉田茂。

アメリカ国防総省

毎日新聞社

◀▼**天皇、食糧難克服を訴える(5月24日)**12日、米よこせ大会の世田谷区民が宮城へデモをし(写真左)、天皇はラジオを通じ「家族国家のうるわしい伝統に生き」「乏しきを分かち」などと呼びかけた。

▼**「街頭録音」大反響(5月6日)**NHKラジオが街を行く人々とアナウンサーを対話させ、庶民の生の声を初めて放送。6月3日放送の「あなたはどうして食べていますか」は大変な反響を呼び、おもに東京・銀座で行われた録音には黒山の人だかりができた。

月刊沖縄社

昭和21年5月

1(水)●一一年ぶりにメーデー復活。二〇〇万人参加。
2(木)●北海道夕張炭鉱で労組が生産管理に突入。●ジョン・ウェイン主演「拳銃の町」封切。
3(金)●極東国際軍事裁判(東京裁判)が開廷。●ソ連軍、「満州」(中国東北部)撤退完了。●GHQ、自由党総裁・鳩山一郎の追放を発表。
4(土)●東京裁判の日本人弁護団長に鵜沢総明が就任。
5(日)●元佐世保俘虜収容所長・池上宇一に死刑判決。
6(月)●医学教育審、インターン制の採用を決定。●ラジオ「街頭録音」が街頭討論会形式になる。
7(火)●教職員追放令施行。四〇万人を再審査。●東京通信工業(現・ソニー)設立。
8(水)●新潟県村松町で大火。千百余戸全焼。
9(木)●米軍余剰食糧三三七四万ドル払い下げと発表。
10(金)●米陸軍参謀総長アイゼンハワーが厚木に到着。
11(土)●上野動物園で豚・鶏・家鴨分配の抽選。
12(日)●世田谷区民が米よこせ大会。宮城へデモし赤旗が初めて坂下門をくぐる。
13(月)●GHQ、鋼鉄製漁船四一六隻の建造を許可。
14(火)●東宝交響楽団が第一回公演。「新世界」など。
15(水)●「思想の科学」創刊。●「リーダーズ・ダイジェスト」日本語版創刊。
16(木)●藤山愛一郎・高村光太郎ら都市文化協会設立。
17(金)●GHQ、食糧危機打開に化学肥料増産を指令。
18(土)●東京裁判被告・広田弘毅の妻静子が服毒自殺。
19(日)●二五万人が食糧メーデー(「朕はタラフク食ってるぞ」のプラカードで不敬罪起訴)。●東京六大学野球が再開(慶応が優勝)。
20(月)●マ元帥、「暴民デモ許さず」と声明。
21(火)●富山県宇奈月温泉で大火。駅含む大半を焼失。●GHQ、皇族の財産上の免税特権などを剝奪。
22(水)●第一次吉田茂内閣成立。蔵相・石橋湛山。
23(木)●映画「はたちの青春」封切。初のキスシーン。
24(金)●吉田首相、生産管理に反対と表明。
25(土)●千葉県習志野に農耕隊として派遣中の豊多摩刑務所の受刑者二八人が集団脱走。
26(日)●東京と京都で戦後初の学生メーデー開催。
27(月)●東京都食糧危機打開本部、千葉県の農村に代表を派遣し一〇〇〇俵を獲得。
28(火)●逓信院、特定郵便局長への女性就任を認可。
29(水)●一五坪以上の住宅・店舗の新・増築を禁止。
30(木)●上野アメ横に武装警官五〇〇人が出動し、禁制品などトラック一六台分押収。
31(金)●早稲田大学で学生自治会初の自治権確立。

◀「闇の女」一斉検挙（6月12日）デモクラシーの理想に反するとしてGHQは1月、公娼制度を廃止した。しかし食べるため夜の街に立つ街娼も多く、性病対策の「狩りこみ」が行われた。

毎日新聞社

▼かぼちゃの種子配給（6月16日）前年の日本産が不作だったため米国から贈られたもの。東京では1軒に10粒まで。かぼちゃ畑を庭に持つ家は多く、深刻な食糧難を救う貴重な代用食だった。

影山光洋

◀「カサブランカ」封切（6月13日）ナチス支配下の仏領モロッコを舞台にしたロマンスが多くの日本人を熱狂させた。主演ハンフリー・ボガート、イングリッド・バーグマン。

▼第2次読売争議勃発（6月13日）第1次争議で生まれた「民主読売」に対し、経営者側は編集幹部の諭首を告げた。以降126日間、紛争は続いた。写真は24日の抗議デモ。

共同通信社

アメリカ国防総省

▲「天皇を裁かず」（6月18日）東京裁判の首席検事キーナンが一時帰国中の米国で言明。天皇を利用した間接統治を得策とするGHQおよび米政府の意思を反映した主張となった。

▼4年ぶり早慶戦復活（6月16日）後楽園球場にどっとファンが詰めかけ、外野席からあふれた観客がグラウンドになだれ落ちたほどだった。試合は慶応が4対0で勝った。

毎日新聞社

昭和21年6月

1（土）●戦災復興院、余裕ある住宅に戦災者の同居を義務づける住宅緊急措置令を公布。
●日銀の新総裁に一万田尚登が就任。
2（日）●伊国民投票で王制廃止決定（10日共和国宣言）。
3（月）●東宝が第一期ニューフェース審査。
4（火）●子どもを使った菜園荒らしが五月だけで四千余件と新聞に。
5（水）●日本ローマ字会、漢字全廃推進を声明。
6（木）●農林省、月一〇日間の食糧休暇を公認。
●前進座と東宝がミュージカル「真夏の夜の夢」を合同公演。演出・土方与志。
7（金）●GHQ、東京にある洋風住宅の接収を通告。
8（土）●枢密院、憲法改正案を無修正可決。
9（日）●戦争未亡人が戦争犠牲者遺族同盟を結成。
10（月）●津田左右吉、早大総長に当選（辞退）。
11（火）●山形・秋田・新潟に豪雨、二千町歩余が冠水。
12（水）●「ルパン」名乗る連続強・窃盗団の一人逮捕。
13（木）●米映画「カサブランカ」封切。
●読売新聞社、編集局長・鈴木東民ら六人に退社命令（第二次読売争議）。
14（金）●文部省、食糧危機打開のため夏休み短縮決定。
15（土）●NHK技術研究所、テレビの研究を再開。
16（日）●戦後初の早慶戦。観衆あふれ観覧席増設。
17（月）●宮内省、京都御所外苑を農耕地に開放。
18（火）●首席検事キーナン、「天皇を裁かず」と言明。
●長野県須坂町で爆薬一トン爆発。五十余人死傷。
19（水）●憲法問題専任国務相に金森徳次郎が就任。
20（木）●第九〇議会開院式勅語、初の口語体で。
●ジャン・ギャバン主演「望郷」封切。
21（金）●都労連が業務管理に突入。事務は事実上停止。
22（土）●GHQ、米国をはじめとする戦勝国の漁業に悪影響を与えないよう制限していた日本の漁業水域を拡張（第二次マッカーサー・ライン）。
23（日）●NHKラジオ、「今週の議会から」放送開始（後の「国会討論会」）。
24（月）●GHQ、京浜地区に米麦二万二〇〇〇トン配給。
25（火）●GHQ、官吏賞与の月給繰り入れを承認。
26（水）●首相、改正憲法九条は自衛戦争も放棄と言明。
27（木）●三菱鉱業美唄炭鉱労組、給与問題で会社側と協定成立、六〇日間の生産管理解く。
28（金）●文部省、号令・行進・体操などを非軍事的に行うよう通牒。
29（土）●GHQ、地理の授業再開を許可。
30（日）●東京の大森・渋谷などに夜店が復活と新聞に。

20世紀博物館

金沢市立・安江金箔工芸館 石川・金沢市

たたいて延ばし、薄さ〇・一ミクロンにいたる技術の持つ"すご味"

桑原茂夫

▶たばねてたたかれた箔打紙から金箔を取り出す作業。もっぱら女性が行う。この博物館でも入館者の前で女性が実演してくれる。

水野直樹

金箔を作る仕事など、特に戦争中の「贅沢は敵だ」「すべての金属は軍需に」という時代にあっては、とうてい無事ではなかったろうと思いこんでいた。しかし、安江金箔工芸館館長の北村渉さんに念のため聞いてみると、案に相違して、金の配給制限はあったものの、金箔工芸はずっと持続していたそうだ。

金箔工芸は、非常に繊細微妙、複雑高度な技術なので、いったんとぎれたら最後、復活させるのは無理という、戦時下にしては冷静な判断が下されたのだろうか。そんな推測もしたくなるほど、大変な技術なのである。しかし、基本は金を薄く延ばすこと、これにつきる。金をたたいて延ばすのだ。

ところが、ここで意外なことに"紙"が大きな役割をはたす。紙なくして金箔は語れないのである。粗く延ばした金の一枚一枚を、箔打紙と呼ばれる紙にはさんでたばね、これを、かつては小槌で、今は機械でたたく。それで金は〇・一から〇・三ミクロンという薄さまで延ばされる。

ここで用いられる箔打紙だが、ひとことで言うと紙のイメージを超えた紙だ。たたきにこたえる強さ、しなやかさを持ち、しかも、金が自由に延びるのを妨げないなめらかさも持ち合わせている。

展示されている箔打紙にさわってみると、紙とは思えない独特の質感が得られる。布でもない。合成繊維でもない。まぎれもなく紙なのではあるが……。

北村さんの話では、箔打紙は、祇園の舞妓さんが好んで使うものでもあるという。化粧直しの時、あぶらを取るのにいいからだそうだ。今、金沢駅などのお土産屋さんでも手に入るようになっていて、女性に人気がある。

さて、このような優れた箔打紙は、手すきの和紙から作られる。和紙を、灰汁と柿渋と卵を加えた汁につけて作る。

和紙は、兵庫県西宮市で作られる"名塩の紙"がいちばんいいそうだ。このへんの凝り方もはんぱではない。

はんぱでないのは、次のような話からも感じられた。箔打紙を使う時、紙の表面に埃などがあってはいけないから、きれいに掃除する必要があるが、その掃除には「ウサギの手を使うのです」。比喩ではない。実際に毛におおわれた「ウサギの手」が展示してある。これを刷毛のようにして使うのだという。

なぜウサギの手なのか？

「それがいちばんいいから！」だ。

そしてまた、箔打紙の間に金をはさんでたばねる時、束をしっかり固定するのに使うテープも"シャミセンガワ"と材質が決まっている。たばねた箔打紙が、たたかれているうちにずれたりしては元も子もない。使いこまれた後の三味線の皮で固定するのがいちばんなのだそうである。なんともすご味のある技術ではないか。

この博物館を建てた金箔工芸の名人、安江孝明さんは今一〇〇歳になるという。金箔工芸の後進に、夢と誇りを持たせるために、私財を投じて博物館を作った安江さんの思いが、延々と伝えられることを率直な気持ちで祈りたくなった。

●金沢市立・安江金箔工芸館
石川県金沢市北安江一－五－一〇
☎〇七六二－三三－一五〇二
JR北陸本線金沢駅下車、徒歩五分
開館時間＝九時三〇分～一七時
休館日＝火曜日、祝日の翌日（火曜日にあたる時は翌日）、年末年始
入館料＝一般三〇〇円（案内と金箔入り茶・菓子つき）

▲箔打紙（上段の右から2番目）や、金箔の性質や薄さが確かめられる見本（同じく左から2番目）。

▲箔打紙を作る工程が展示されている。右奥の桶で灰汁を取り出し、柿渋と卵を加えた汁を作り、これに和紙をひたす。

▲2階は金箔工芸品の展示。季節によって内容が変わる。このような工芸品を含めて金箔関係470点余りを所蔵している。

尾崎秀実の〝汚名〟の真相『愛情はふる星のごとく』

戦時下の不自由な時をすぎて、堰を切ったようにあふれ出た自由への渇望は、出版活動にも現れたが、紙不足ということもあって思うにまかせなかった。そんな状況を背景に、時代の激変期ならではの本は、たちまちベストセラーとなった。

尾崎秀実の『愛情はふる星のごとく』は、ゾルゲ事件でスパイとして摘発され、逮捕・処刑された尾崎秀実の、家族との書簡集だが、これが売れた。尾崎秀実にかぶせられたスパイという汚名は、国家・国民に敵対する行為を指弾する言葉であって、本人および家族にとって、文字どおり致命的な汚名となる。しかし、戦争が終わって明るみに出された書簡などを通して、尾崎秀実の行動を振り返ってみると、実は日本を戦争から救うための決死の行動だったことがわかり、その評価も大きく変わっていくのであった。

また、悲惨な戦争が、敗戦という形で終わって、一体、自分たちをここまで追いこんだのは何だったのか、また誰だったのか、といった問いに対する答えを人人は、この本に見つけようとしたのかもしれない。前年末に出た『旋風二十年』が、戦争の真相をあばく本として売れ続けたのと、同じような読者ニーズにこたえた本だったのである。

永井荷風の『腕くらべ』がベストセラーに名をつらねているのも、この時代の雰囲気をよく伝えている。『腕くらべ』はすでに大正年間に刊行されていた作品だが、戦時中は世に出ることもかなわず、久しく絶版状態におかれていた。永井荷風自身も時代に取り残されたかっこうだった。戦争が終わって、荷風の自由闊達な作風を求める人々は多く、このような再刊本もよく売れたのである。

●昭和21年のベストセラー

順位	書名（著者／出版社）
1位	『旋風二十年』（森正蔵／鱒書房）
2位	『愛情はふる星のごとく』（尾崎秀実／世界評論社）
3位	『腕くらべ』（永井荷風／新生社）
4位	『哲学ノート』（三木清／河出書房）
5位	『嘔吐』（J·P·サルトル／青磁社）
6位	『完全なる結婚』（V·D·ヴェルデ／ふもと社）
7位	『架空会見記』（A·ジイド／鎌倉文庫）
8位	『凱旋門』（E·M·レマルク／板垣書店）
9位	『自叙伝』（河上肇／世界評論社）
10位	『漱石全集』（夏目漱石／桜菊書店）

全国出版協会出版科学研究所

日本近代文学館提供

▲『愛情はふる星のごとく』（30円）

日本近代文学館提供

▲『腕くらべ』（50円）

▲「スタイルブック」第1号（暮しの手帖社、12円）

〝強い女〟をそれぞれに熱演 原節子と田中絹代の「戦後」

この年公開された、黒澤明監督の「わが青春に悔なし」や溝口健二監督の「歌麿をめぐる五人の女」は、戦時中たまりにたまっていたものが、噴き出しつつあることを感じさせる作品だった。

「わが青春に悔なし」は、戦時下に反戦運動に身を投じ獄死した男（藤田進）の行動と意義を、その妻となった女性（原節子）に焦点を合わせながら描き出したもの。原節子が周囲の迫害にも耐えて、自分の信念を貫き通す〝強い女性〟を熱演したのも、この作品のポイント。

「歌麿をめぐる五人の女」は、舞台こそ江戸時代に移しているが、それまでせきとめられていた〝表現の自由〟を、歌麿という傑出した浮世絵師を通して真っ向から取り上げた作品でもあった。歌麿がお上から謹慎を申し渡され、両手を縛られて五〇日、晴れて赦免となった時、祝杯を後にまわして「私は絵が描きたいんだ」と叫びながら絵筆を取ったラストシーンは、この時代の多くの人の実感に即したものだっただろう。また、この作品では、田中絹代が、恋心のおもむくまま、煮えきらない男と、その男を奪ったおいらんを刺し殺してしまう女を演じているが、ここでも〝強い女〟の存在が際立った。

この年、ほかに次のような映画が公開されている。かっこ内はおもな出演者。

「大曾根家の朝」（杉村春子） 「東京五人男」（古川緑波） 「女性の勝利」（田中絹代） 「待ちぼうけの女」（高峰三枝子） 「或る夜の殿様」（長谷川一夫）

松竹提供

▲木下恵介監督の反戦映画「大曾根家の朝」。右手前は軍人役の小澤栄太郎、左に、その無責任さを問い詰める杉村春子。

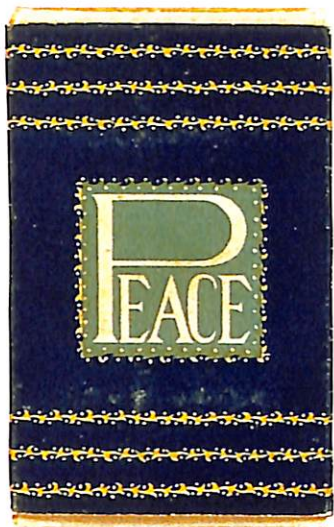
黒澤プロ　東宝提供

▲「わが青春に悔なし」で、反戦運動に身を投じる青年を演じた藤田進（左）と、後に彼の遺志を継いで闘う女性役の原節子（中）。

松竹提供

▲「歌麿をめぐる五人の女」で歌麿を演じた坂東蓑助（右）と、歌麿と親しい女を好演した田中絹代（左）。

戻ってきた〝平和〟を実感！ 口元に「ピース」、指には「爪紅」

▲**早くも始まった爪のおしゃれ**　戦前からマニキュアを含めたエナメル化粧品を発売していた資生堂が、この年、戦後初の新製品として世に出したのが「爪紅（つまべに）」だった。直径1センチ、高さ4センチの容器入りで、エナメルのように光沢を出すものではなく、爪にほんのりと色をつける効果があった。〝爪紅〟という名称そのものは江戸時代からあり、紅花や鳳仙花から取った紅が用いられていた。

▶**終戦を象徴するタバコの発売**　両切りタバコの「ピース」が、日本専売公社（現・日本たばこ）からこの年、1箱10本入り7円で発売された。デザインは一般公募によるもので、写真で見るように、現在のものとは異なっていた。しかしこのデザインがドイツのデザイナーの作品と似ていたということもあって、新たにアメリカのデザイナー、R.ローウイに依頼。昭和27年、現在のような「ピース」のデザインが生まれた。

▶**ラビットはスクーターの代名詞**　終戦後、いち早く道路上に姿を現した乗りもののひとつに、「ラビット」がある。富士産業（現・富士重工業）が、アメリカ軍の落下傘部隊使用のスクーター〝パウェル〟をモデルに、民需用に開発したもの。この年6月に写真のような試作車が完成した。車体は国防色に塗装され、ラビットのロゴとウサギのマークは白で染め抜かれ、2馬力・135ccという性能で大活躍した。

▲**電力が余った時代の電器製品**　戦後、軍需工場の操業停止などで全国的に電力需要は激減した。一方で、主要水力発電所のほとんどが戦禍をまぬがれて稼働できたので、かなりの余剰電力が生じた。そのため電力以外のエネルギー資源に比べて電気代は安く、「電熱器」も人気を呼んだ。写真は関東配電（現・東京電力）が発売したもの。ただし、粗悪品も出まわり、ショートするなどして、停電を頻発させたのも事実である。

◀**苦難の時代に一攫千金の夢を追う**　戦争で心身ともにダメージを受けた庶民にとって、一攫千金の夢は、大きな楽しみでもあった。日本勧業銀行（現・第一勧業銀行）が発行した「野球籤」もそのひとつ。プロ野球や都市対抗野球を対象に、試合の勝敗と、得点の合計によって当選番号を決め、売り上げの50パーセントを当選者に均等に配分したもの。後楽園球場、西宮球場などでこの年6月から、昭和25年の3月にかけて発売された。

◀**カメラにも新製品が登場**　終戦直後のカメラ産業は、戦前・戦中に生産されたカメラの部品ストックを使って製造するのが精一杯だった。そんな状況の中で千代田光学精工（現・ミノルタ）は、全部品に新製品を使ったカメラ「ミノルタセミⅢA型」を発売した。レンズの光透過性を増し、より鮮明に写るように、日本で初めてレンズにコーティングをほどこした。日本写真機光学機器検査協会によって、日本の歴史的カメラに認定されている。ケースつきで8850円。

日本カメラ博物館蔵

◀**飛行機が下駄になった**　終戦で不要になった飛行機の資材はいろいろな形で利用されたが、この「ジュラルミン下駄」もそのひとつ。鋳物工場がジュラルミンを鋳型に流して作ったもの。〝電車の中で人に踏まれてもつぶれません〟をうたい文句に売り出されたが、女性には重すぎるし、冬ともなるとあまりに冷たい履物であった。

日本はきもの博物館蔵

人物クローズアップ

原節子(二六)

"毅然"として"しとやか"に銀幕を駆け抜けた「永遠の処女」

焼け跡のバラック小屋での上映から始まった戦後の日本映画は、昭和二一年に入って少しずつ活気を取り戻していった。この年最も注目を集めた映画に、黒澤明監督(三六)の「わが青春に悔なし」(一〇月二九日封切)があった。自我の尊重をテーマにしたこの映画で、毅然と自己を主張する女性を演じたのが原節子(二六)である。軍国主義から解放され、自由を得た日本。が、敗戦によって日本人の多くが劣等感を抱いていた。その劣等感を癒し、叱咤激励しながら前に進む「自由の女神」にして「聖女」。それが原節子だった。戦後最大のヒロインの登場である。

続いて二四年、原節子は今井正監督の大ヒット作「青い山脈」に、封建制と闘う中学校の英語教師、島崎雪子として登場する。観客は、颯爽とした、そして日本人離れした原の美貌に呆然と見とれた。

原節子は、本名会田昌江。大正九年六月一七日、神奈川県横浜市保土ケ谷月見台(現・横浜市保土ケ谷区)に生まれた。色の黒い、目が異様に大きい子どもだったという。女優になったのは昭和一〇年、一五歳の時で、義兄にあたる映画監督の熊谷久虎の勧めによるものだった。

デビュー作は「ためらふ勿れ若人よ」という青春映画である。彼女の役はお節ちゃんという女学生で、原節子の芸名はそこからとられた。女優としての原節子が一躍脚光をあびたのが、昭和一二年に封切られた日独合作映画「新しき土」への出演だった。ドイツ人監督のアーノルド・ファンクが、日本的しとやかさと西洋的理性をあわせ持つ彼女に注目したのである。

「彼女には西洋的なものと日本的なものが共存しているんです。『青い山脈』までは、戦後民主主義下で自己主張する聖女を演じますが、その後は小津安二郎監督のもとで、でしゃばらず、しとやかで、しかも芯の強い日本的な女性を演じることになります。小津は彼女のもうひとつの側面、すなわち日本的な部分をみごとに引き出します。彼女もそうした小津の要求に、きっちりとこたえていきました」

映画評論家の千葉伸夫氏は、原節子という女優をこう語っている。

女優・原節子こと会田昌江は、べたべたしたつきあいを好まない、ひっそりとした人柄である。人見知りは、子どもの頃からのものだったという。そんな清真なイメージと控えめな性格。そこから「永遠の処女」という形容が生まれた。しかし反面、彼女は意外と活発だった。俳優の池部良は、原節子から「もやし」と呼ばれ続け、また「節ちゃんのお尻って石臼なんてもんじゃないなア」と言ったらいきなり蹴とばされたと記している(佐藤忠男監修『永遠のマドンナ原節子のすべて』)。

原節子がひっそりとスクリーンから消えたのは昭和三七年のことだった。「永遠の処女」という形容のままに、あれから三五年が経つ。

▲吉村公三郎監督「安城家の舞踏会」で、没落華族の家を健気に支える娘を演じた原節子。昭和22年の「キネマ旬報」ベストテン第1位となり、彼女の人気も沸騰する。 松竹提供

▶原節子を小津映画の不滅のヒロインにした名作、二八年の「東京物語」。笠智衆と。 松竹提供

▶二一年秋、資生堂の戦後初の多色刷りポスターに登場。 資生堂提供

決定的瞬間

旧日本海軍の戦艦「長門」も標的に ビキニを〝死の島〟にした原爆実験

▲7月25日に行われた「クロスロード」作戦の第2実験。浅い海中での爆発の瞬間、盛り上がった海面の中央から直径600メートルの水柱が、1600メートルの高さにまで噴き上げられた。そして、放射能を含んだきのこ雲は横に大きく広がった。水柱の根もと近く、右手前に見えるのが「長門」。 CORBIS-BETTMANN／PPS

一九四六年（昭和二一）二月、南太平洋のビキニ島（マーシャル諸島北端）に住んでいた島民一六六人は、アメリカ軍から、一七〇キロ離れたロンゲリカ環礁へ の避難を求められた。「人類の福祉のために、新型爆弾の実験を行う」という説明があった。

同年七月一日、四万二〇〇〇人の兵士と、約一八〇人のジャーナリストが見守る中で、「クロスロード」作戦の一回目の実験が実行に移される。

この作戦は三回の実験が予定され、一回目は空中で、二回目は浅い海の中で、三回目は深い海の中で、と条件を変えながら原子爆弾を爆発させ、艦船にどのような影響を与えるかということを調べるものであった。そのためビキニを主島とする環礁の礁湖には、旧日本海軍の戦艦「長門」、巡洋艦「酒匂」を含む七三隻の標的艦船が係留され、船の中には戦車、飛行機、衣服などのほかに、人間の代わりとしてヤギ二百頭余、ブタ二〇〇頭、ネズミ五〇〇〇匹が乗せられ、被爆後のデータを与えてくれることになっていた。

午前八時五〇分、B29から二三キロトンの爆発力を持つ長崎型原爆が投下され、ビキニ環礁の上空数百メートルの地点で爆発。閃光と巨大な火の玉から生じたきのこ雲は上空一〇〇〇メートルまで駆け上った。

「さながら怪物が地球を持ち上げてはこれを虚空に投げ捨てんとして、地球と争ってでもいるかのようである」（「朝日新聞」七月二日）と、実験を目撃した「ニューヨーク・タイムス」のローレンス記者は報告している。

しかし全体としては想像されたほどの破壊力はなく、この実験で沈んだ標的艦船は「酒匂」など五隻、大破した艦船は「長門」はじめ九隻。配置されていた動物の一〇パーセントが即死し、数日後に死亡したものを加算すると三五パーセントであった。放射能は上空高く舞い上がって拡散し、作戦指令室はこの結果に満足した。

「クロスロード」作戦はさらに、七月二五日午前八時三五分に二回目の実験を行った。この実験では、一回目とは様相が異なり、一〇〇万トンにもおよぶ海水が空中に噴き上げられ、巨大なマッシュルームのように広がった。標的艦船のうち五隻は瞬時に沈没、「長門」は右舷にひどくかしいで五日目に沈没した。

放射能に汚染された海水が礁湖の半径五キロにわたって降り注ぎ、標的艦船は想像を超えて汚染した。兵士たちは三日間近寄ることもできなかった。

四日後、汚染も幾分弱まったと判断して部隊が近づいたが、人体があびてもよいガンマ線の一日当たりの制限値を、わずか二〇分であびてしまうという状態であった。

この作戦に従事していた放射能安全チームは、「人員をひどい放射線に曝すことなく標的艦船の除染（放射能を洗い落とす）は不可能だ」との見解を出し、作戦を指揮したブランディ海軍中将は八月一〇日、三回目の実験を中止した。放射能汚染という問題に軍部は有効な対策を持てなかったからだ。しかし、この教訓は生かされることなく、一九四六年から五八年まで、ビキニ環礁では二三回の原水爆実験が行われ、一九七八年八月、ビキニ島は汚染のため閉鎖された。

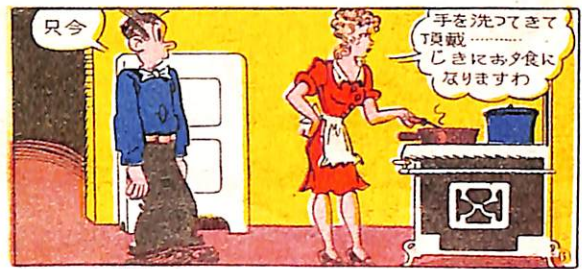
住民たちの〝島に帰りたい〟という希望は今もってはたされていない。

Dagwood It's my happy birthday, to-day!

Man You look awfully happy, Dagwood.
Dagwood Sure, it's my birthday today.

Dagwood I'd better brace myself when I get in the door—the family will all come rushing at me with congratulations.

Dagwood Hello, children. Cookie Hello, Daddy.
Alexander H'lo Pop.

Dagwood Oh, well, you can't expect little kids to remember dates. Blondie will have a big kiss for me.

Dagwood Hello, dear.
Blondie Wash your hands—supper will be ready in a few minutes.

Dagwood I'm just an old shoe around here—I'm not supposed to have any feelings.

Dagwood Day in day out I slave and work my fingers to the bone and what do I get for it? What's the use?

Dagwood I'll go out to a restaurant and a movie—too bad I have to celebrate my birthday by myself.

Blondie Dagwood, come back here!

Alexander SURPRISE!

Alexander Some party, eh, Pop?

◀▶「週刊朝日」連載時は単色印刷だったが、単行本では一部色刷りになり、豊かなアメリカの印象が一層強く伝わった。冷蔵庫もソファーも、ケーキも、みんな大きかった。

美の出会い

分厚いサンドイッチに驚いた！ 人気漫画「ブロンディ」が見せた"普通"のアメリカン・ライフ

◀昭和22年4月に朝日新聞社から刊行された「ブロンディ」の単行本。

日本漫画資料館提供（左ページとも）

「週刊朝日」の六月二日号から、全米の人気漫画「ブロンディ」の連載が開始された。この漫画はアメリカの典型的なサラリーマン家庭、ダグウッド・ハムステッド一家の日常生活をほほえましく描いたもので、すでに全米では九〇〇紙を超す新聞紙上で愛読されていた超人気漫画である。この五月に「週刊朝日」の編集長になったばかりの末松満（三九）が、「ブロンディ」の版権を得て、みずから翻訳して掲載したのである。末松はかつて欧米部次長をしていた時から「ブロンディ」の評判を知っていたのであろう。

主人公のブロンディは、ダグウッドの美しくて賢い妻で、二人の間には息子のアレクサンダーと娘のクッキーがいる。このほかにダグウッドがつとめている会社の社長ギザース氏、ダグウッドと始終喧嘩をしている隣人のウッドレイ夫妻、しつこいセールスマン、郵便配達のビーズレイ君などが登場。彼らの日常のちょっとした悪戯や失敗が笑いをさそう。

「敗戦によりどん底生活を余儀なくされていた日本人の多くは、この漫画を見た時、アメリカはすごいなあ、こんな国と戦争をしていたのかと驚いたのではないでしょうか」と日本漫画資料館の清水勲氏は語る。

「アメリカの平均的な家庭には、その頃すでにテレビ、電気冷蔵庫、電気掃除機、庭の芝刈り機、それに大きなダブルベッドまである。ここに描かれたアメリカの豊かさを見て、ぼくらは猛烈にあこがれましたね。たとえば、夜中に冷蔵庫から分厚いサンドイッチを取り出すシーンがあります。たったこれだけですが、アメリカのすごさを見せつけられましたね」

当時の日本人は、「ブロンディ」の漫画を楽しむよりも、その背景に描かれていたアメリカの物質的な豊かさに目を奪われていたのである。

作者のチック・ヤングは一九〇一年、アメリカのシカゴに生まれた。「ブロンディ」は世界大恐慌の最中の一九三〇年から新聞に登場。以来根強い人気を保ち、映画やテレビでも放映された。また世界中で五五ヵ国語以上、一八〇〇紙以上に掲載されるほどのヒットとなった。

「ブロンディが読者に共感を持たれるのは、単純な日常の家庭生活、すなわち眠ること、食べること、金を稼ぐこと、家の切り盛りを描いているからなのだ」とチック・ヤングが言うように、そこには戦争や宗教、民族などシリアスな社会問題はいっさい登場しない。ここに描かれたごく普通の生活の中には、アメリカの豊かさとともに、アメリカの明るい民主主義の思想も色濃く反映されている。「行ってきます」のキッスに見られるように、夫婦や親子、男女の関係が、すべて平等でフランク、そして愛情にあふれているのである。当時の日本の若者には、「ブロンディ」がとてもまぶしく見えて、民主主義の教科書のように思えたこともうなずけるだろう。

「ブロンディ」は翌昭和二二年には早くも単行本となり、以後一〇集まで刊行される。単行本では日本文と英文を併記して大好評を博した。二一年二月に「カムカム英会話」のラジオ放送が開始され、二二年には五七〇万世帯が聞いていたという英会話ブームに後押しされて、単行本の「ブロンディ」は、定価が八〇円という価格にもかかわらず爆発的に売れた。昭和二四年から二六年にかけて「ブロンディ」は「朝日新聞」の朝刊に連載され、全国の家庭にも浸透していった。

チック・ヤングは一九七三年に死去するが、「ブロンディ」はその後も息子のディーンらによって描き続けられている。

▲「ブロンディ」の作者チック・ヤング。当時、15万ドルの年収があったという。 WWP

「現場」を歩く

日比谷

占領軍に接収された「アーニーパイル」劇場の二〇〇一年

山本徹美

昭和二一年二月二四日、東京・有楽町に建つ東京宝塚ビルの塔屋部に「ERNIE PYLE」という看板と星条旗が掲げられた。前年末、連合国占領軍に接収された同劇場が、占領軍専用の娯楽施設として衣替えを余儀なくされたのである。この劇場名は沖縄で戦死した従軍記者アーネスト（愛称アーニー）・パイルに由来する。

当時、同劇場で大道具係などをまとめる立場の「幕内主事」だった安永貞利氏（現・八〇歳）が回顧する。

「接収時、占領軍側は日本人従業員の全員解雇を通告した。それに対して結城雄次郎支配人が『東洋一の施設。専門知識と技術なくして運営などできない。スタッフは現状のままで』と要望し、占領軍も検討の結果、その案が通ったようです」

宝塚劇場は終戦からわずか一ヵ月後の九月一二日、「第一回芸能大会」を開演。「復員してきた役者が挨拶するだけの内容でした。それでも会場は満員。混雑にまぎれて、椅子に貼ってある真っ赤な布が大量に盗まれ、それを劇場界隈の靴磨きたちが堂々と使っていた。でも劇場側は糾弾などしなかった。誰しも生きるのに必死。お互いさまという感じでした」

安永氏は伝手を頼りに職を求めて来る人があると、道具係として採用するよう占領軍担当者に進言、受理された。最多時には大道具だけで一五〇人、全体で一〇〇〇人もの大所帯に。ほかに、公演に先立ち、日本人ダンサーを募集。女七〇人、男一〇人が採用。

「占領軍側は、いくら雇っても懐は痛まない。給料を払うのは日本政府だから」

いずれにせよ宝塚劇場は娯楽に飢え、仕事にあぶれていた人々にしてみれば希望をもたらすビルであったと思われる。

二〇〇一年新館オープン

昭和三〇年一月、接収解除となるまでアーニーパイル劇場ではレビューショーが演じられ映画が上演されたが、鑑賞できるのは占領軍関係者に限られた。

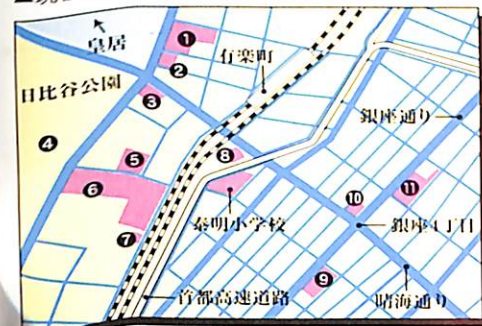
東宝に返還後、建物は修繕を繰り返しながら使われてきた。が、館内に入ってみると廊下や天井の漆喰はあちこち剥がれ落ち、床面にはヒビが入っていて、老朽化は否めない。外壁タイルにいたってはファンの落書きがびっしり。

東宝によると、昭和九年来使用してきたこのビルも、平成九年末をもって閉館。二〇〇一年一月、地上一七階、地下三階のビルに生まれ変わる。七階から上は賃貸とし、六階以下が劇場となる。

アーニーパイル劇場の副支配人をつとめた藤野善臣氏（現・八二歳）が言う。

「演劇の拠点だった宝塚ビルも二一世紀にはそれだけでは成り立たないということ。辛いけどやむをえない選択でしょう」

とりあえず宝塚ファン

▲現在の東京宝塚ビル。「ERNIE PYLE」の文字が塔屋からはずされたほかは、外観は接収当時と変わらない。　但馬一憲

◀東京中心部のおもな占領軍接収施設　❶第一生命相互ビル（GHQ〈連合国総司令部〉）❷大正生命ビル（米軍空輸司令部）❸帝国生命館（米軍東京憲兵司令部）❹日比谷公園内野球場（ドゥーリトル・フィールド野球場）❺東京宝塚劇場（アーニーパイル劇場）❻帝国ホテル（将校宿舎）❼日本タイムズ・ビル（スターズ・アンド・ストライプス社）❽ニュートーキョー（連合軍将校ビヤホール）❾松坂屋地下（オアシス・オブ・ギンザ〈キャバレー〉）❿服部時計店（米軍スナックバーとPX〈占領軍用売店〉）⓫松屋（米第8軍東京PX）

▶占領軍専用として開場したのは、一年二月に「アーニー

食糧難の"焼け跡"に続々！「何でもあり、何でも売れた」闇市の人間模様

▲東京の新橋駅北口前の闇市を縄張りとした、関東松田組の事務所。闇市で店を開くには毎日の場所代を支払わねばならなかった。　月刊沖縄社

闇市第一号は、敗戦からわずか五日後に新宿でうぶ声を上げた。全国の焼け跡に広まった青空市には、食糧から衣料品、盗品から密輸品までがあった。発砲騒ぎも日常茶飯事で、復員軍人、予科連帰り、そして戦災孤児のダフ屋やスリグループまで、いかがわしくもバイタリティーに富んだ人間模様が交錯していた。

深刻な"食糧難"が闇市を誕生させた

「この朝一〇時半（中略）各警察および本庁からの応援隊約五〇〇名は一〇台のトラックに分乗上野露店街表通りにのりつけた。（中略）浮き足だった露店街ではあわてて店をたたみ、リュックや大風呂敷を近隣の商家に手当たり次第投げこむもの、"逃げろ""集まれ"という怒号……」

五月三一日付の「朝日新聞」は、上野の闇市を警官隊が急襲したことをこう伝えた。当時、食品、衣料品のほとんどがこの年三月三日に公布・施行された「物価統制令」によって規制されていた。物資は公定価格で配給されるのが建て前である。だが生産者は、安い公定価格での出荷を渋った。配給は遅配に次ぐ遅配で、昭和二一年当時、最も状況の悪化していた札幌では七〇日分もとどこおった。それに輪をかけたのが大量の復員兵、引揚げ者、そして戦災孤児だった。二一年までに海外から約五〇〇万人が帰国している。加えて、戦災孤児（「浮浪児」と言われた）の数は二三年二月一日に厚生省が行った全国一斉調査によれば、一二万三五〇四人にのぼった。

◀上野駅周辺にたむろしていた戦災孤児。焼け残った建物や地下道をねぐらに、食うや食わずの毎日を送っていた。

林忠彦

は庶民の買い出しに向けられ、他方では闇市が手入れにあった。が、何度取り締まっても、飢えた人々の買い出し行脚は続き、闇市もすぐさま復活をとげた。イタチゴッコが延々と続けられたのである。二一年当時、警視庁保安部経済二課長だった後藤田正晴（三二、後の副総理）はこう述懐している。

「遅配欠配がしょっちゅう起こる。国民としては背に腹は代えられず、闇をやらざるをえない。それを国家権力が取り締まる。（中略）私どもは、こんなことが政府のやることかと、内心の矛盾を感じていた」（『私の履歴書』）

この年の経済事犯による検挙者は全国で一二二万人、翌二二年には一三六万人にものぼる。

東京地裁で、比較的軽い経済事犯の審理担当の山口良忠判事（三三）が栄養失調に起因する肺浸潤で死亡するのは二二年一〇月一一日。『朝日新聞』は社会面トップで大々的に「判事がヤミを拒み栄養失調で死亡」と伝えた。山口判事は闇事件を担当していたのである。

盗品から中古まで何でもあり、売れた

「闇市には何でもあった。戦時中はお目にかかれなかったものがどこからか、それも無数に出て来た。食糧品や衣料品、鍋釜のほか、『ラッキーストライク』『フイリップ・モーリス』などの洋モク、当時羨望の的だったゴム靴、石鹸、生地類など、雑多なものが無秩序に売られていた。そして何でも飛ぶように売れた」

アメ横商店街連合会会長の檜山健一はこう振り返る。

生き馬の目を抜くようなエピソードにもこと欠かない。「上野で盗まれた自転車が二時間後に、塗り直されて新橋で売られていた」「煎った大豆をミカン箱の上で売っていたら、全部買うという客が現れた。そして一〇分後には一〇〇ｍほど離れたところで倍の値段で売っていた」

闇市で人気メニューとなったものに「栄養スープ」がある。アツアツに煮こんだスープの中身は、豚肉らしきもの、コンビーフの破片、じゃが芋、人参、セロリ、グリンピースなど。だがこれなら普通のスープと変わらない。不思議なのはそこに、銀紙に包まれたチーズのかけらや、洋モクの袋の一部などまでが浮いていることだった。実はこのヒット料理の「原料」は占領軍食堂の「残飯」だったのだ。しかし、誰も「不潔」などと言わず、貪欲に胃袋におさめた。従来は知られていなかった、餃子やホルモン焼きなども闇市から誕生したのである。

大人にまじり、孤児たちも生きるために必死で立ち向かっていた。彼らの最も一般的な稼ぎは新聞売り、モク拾い、靴磨きだった。あるいは列車の座席取り（「ショバ売り」）。一〇〇円が相場）、切符売り（急行券を買い占めプレミアをつけた）、さらにはグループを作り、より直接的にスリ（「チャリンコ」）、かっぱらいで暮らしていたものも少なくなかった。

闇市は、戦中に圧殺されていたアナーキーなエネルギーがとどまることなく燃えさかったようなものだった。食うや食わずの中で、無法地帯に、弱肉強食と相互の助け合いが、義理人情と裏切りが奇妙に同居してもいた。縄張りをめぐる機関銃まで繰り出す発砲事件も見られた。いかがわしく、そして虚無的な気配をはらみながらも、闇市にはどこか八方破れの明るささえ感じられたのである。

月刊沖縄社

▲21年2月13日、新橋駅前の闇市風景。この頃、東京の闇露店は7万6000軒を数えた。

▶浅草公園ひょうたん池の屋台。肉入り代用うどん1杯5円などとある。

ただでさえ乏しい食糧を、さらに多くの人間で分けあう羽目になったのだ。東京の上野駅では、二〇年一〇月には、一日平均二・五人、一日に六人もの餓死者が発見されたこともあった。民間企業はおろか警視庁ですら、買い出しのための〝食糧休暇〟を認めた。もちろん違法は承知のうえである。誰もが多かれ少なかれ闇に頼らざるをえなかったのだ。

あらゆる人々が食糧を求め、物資の集まる闇市に群がった。東京の闇市第一号は新宿駅東口だった。敗戦からわずか五日後の八月二〇日というすばやさだったのである。同じように、新橋、渋谷、上野に、大阪でも、梅田、阿倍野などに闇市が誕生した。

これらに対し、経済警察は、再三にわたり取締りをはかった。取締りは一方で

毎日新聞社

フォト＋日録で再現する365日

▲マッカーサーに感謝する盆踊り（7月19日）2月に1000トンの小麦粉の引き渡しを決定するなど、次々に食糧放出を実施、飢餓状態にあった日本人を救ったとの思いを舞台側面の横断幕に英文で記した。東京で。

毎日新聞社

▲独立祭で米歩兵部隊が銀座をパレード（7月4日）宮城前から帝国ホテル前までを行進。4月の米陸軍記念日にも騎馬隊や戦車がパレードし、米軍の威容を誇示していた。

共同通信社

◀国産ペニシリン量産へ（7月）軍隊への性病の蔓延に手を焼いたGHQは、4月、禁止していた日本製の販売を2社に限り許可した。7月、社団法人が設立され東大の研究室（写真）などで量産研究が進んだ。

毎日新聞社

▼引揚げ者収容所（8月）旧満州（中国東北部）からの最初の集団引揚げ船が4月に博多に入港、国外にいた日本人の引揚げが本格化した。写真は定住先が決まるまで滞在した福岡の施設。

共同通信社

▲サーベルから警棒へ（7月30日）1月のGHQによる拳銃携帯許可を含む武装に関する覚書を受けて、この日からサーベルが廃止された。写真は警棒による逮捕術の訓練。

毎日新聞社

▼分離統治への怒り（7月）GHQが琉球や小笠原諸島などの分離統治を決め、新聞でも非日本人と扱われたことに対して、沖縄人連盟が国会議事堂前で抗議デモ。太平洋戦争で約20万人の犠牲者を出した怒りは深い。

毎日新聞社

昭和21年7月

1（月）●NHK、「尋ね人」の放送開始。
●米、南太平洋ビキニ環礁で原爆実験。
●官吏の給与改定。基本給は六〇〇円に増額。

2（火）●GHQ、凍結中の国防献金七億円を社会救済費に使用するよう指令。

3（水）●東京ダンサー組合結成。三千余人が参加。

4（木）●フィリピン共和国、四八年ぶり独立。
●人工甘味料ズルチンの販売が許可される。

5（金）●文部省、全国市町村に公民館の設置を通牒。
●「夕刊ひろしま」が初めて原爆投下直後の広島の写真三点を掲載。

6（土）●「大日本帝国」を「日本国」に改称。

7（日）●日本民主主義婦人大会開催。

8（月）●東京で蒲鉾による中毒（～11日に一六〇〇人）。

9（火）●八月から女性にもタバコ配給と専売局発表。

10（水）●東京で流行した発疹チフスに完全終息宣言。

11（木）●文部省、ローマ字教育の採用を通達。

12（金）●中国で全面的な国共内戦に突入。
●警視庁、女性不良団「血桜組」三八人を検挙。

13（土）●佐渡の相川町で「おけさ流し」が六年ぶり復活。

14（日）●社会党、救国民主連盟への共産党参加を拒否。

15（月）●引揚げ者団体が生活安定要求し全国大会。

16（火）●三井一族が「家憲」と同族会の廃止などを決定。

17（水）●GHQ、差しおさえ中の金銀塊返還を許可。

18（木）●「食いつなぎ疎開」の旅費に封鎖預金から一〇〇〇円まで引き下ろし自由となる。

19（金）●初の歯科専門、東京歯科大学に設立認可。
●東京・渋谷で闇市での利権抗争がからみ、台湾省民と武装警官が銃撃戦（渋谷事件）。

20（土）●粗悪な日本製品の評判一掃めざし、横浜で全国貿易再開展示会開催。

21（日）●民主人民連盟（代表・山川均）創立。

22（月）●東京裁判で中国側初証人、元北京市長が証言。

23（火）●日光東照宮など二六棟を戦後初の国宝指定。

24（水）●国鉄、一三万人弱の人員整理を組合に通知。

25（木）●郵便料金を三倍に値上げ。はがき一五銭。

26（金）●東京裁判で南京虐殺事件の被害者証言。

27（土）●全日本港湾労働組合結成大会、傘下約二万人。

28（日）●在日華僑連盟、渋谷事件犠牲者の総会葬挙行。

29（月）●東京・蒲田の米人殴打事件で主犯に終身刑。
●日独のぞく旧枢軸国と連合国のパリ和平会談。

30（火）●警官の制服改定されサーベルが全面禁止。

31（水）●東京料理飲食店組合、一皿五円など新公価に反対し一斉に食堂ストを指令。

証言・あの日この日

正岡　容（41）

8月11日(日)〈永井荷風先生来書。一家驚喜。小蛇生、来。午、突如、海水帽、開襟シャツの永井先生御来訪たゞ〳〵その光栄に夫婦狼狽、なすところを不知。先生、前歯は欠けたれど日焼けしておん若く『問はず語り』特製本、『腕くらべ』いづれも御署名本給はる〉（正岡容『荷風断片』）

正岡容がこれほど強く感激しているのは、彼がこの前日に、妻で新式日本舞踊家の花園歌子とともに荷風の留守宅を訪れていたからだ。翌日、「来書」に続いて、本人までが顔を見せる。気むずかし屋の荷風も初対面の正岡夫妻には好意的だ。開口一番、〈新円も亦封鎖をやりますねえきつと、だから私は銀行へは預けませんよ〉と語った後、〈文学談、寄席懐古談、オペラ館のこと〉など〈快談不尽、暮に至る〉。ちなみにこの時、荷風は66歳である。

（坪内祐三）

▲小麦粉中毒事件（8月30日）東京・中野の住民が配給粉でうどんやすいとんを作って食べたところ、約5000人が中毒、50人が重症となった。その後も同様の中毒が相次ぎ、原因は原麦の赤カビ病と推定された。写真は9月初旬の配給所前の様子。

毎日新聞社

▲強姦魔・小平義雄逮捕（8月20日）「安い米がある」などと言っては若い女性をだまし、立件されただけでも犯行は10件におよんだ。昭和24年10月、死刑執行。

毎日新聞社

◀原爆投下1周年の広島（8月6日）平和復興広島市民大会で「原子砂漠郷土の復興に全力を捧げる」という決議文を採択。原爆が落とされた午前8時15分、市民は立ち止まり、死者に1分間の黙祷を捧げた。写真は広島駅前。

共同通信社

▶戦艦「日向」屑鉄に（8月）レイテ沖海戦に「伊勢」とともに出撃した連合艦隊の航空戦艦。前年7月、広島・呉の近くで空襲を受け大破したが、GHQの指令で軍艦は屑鉄に解体されてから日本に引き渡されることになった。

毎日新聞社

▲占領軍家族のメイド養成所（8月1日）外務省と東京都が帝国ホテルの協力で麹町に開校。第1期生100人が1ヵ月間、英会話や米国式家事などを学んだ。写真は洋食のマナーを学ぶ生徒たち。

昭和21年8月

1（木）●日本勧業銀行、宝籤部を開設。
●日本労働組合総同盟（会長・松岡駒吉）結成。
●全国一斉に闇市の取締り（8月1日粛正）。
●外務省、占領軍家庭のメイド養成所を開設。

2（金）●一〇五ムグラのヘロイン取り引きで二四人送検。

3（土）●日本で初の原爆症の医学記録発表した元海軍軍医・都築正男が公職追放になる。

4（日）●出版活況は峠越す、返品率二〇％と新聞に。

5（月）●東京・練馬の町会長ら、都庁などに「練馬区の独立」を陳情（22年8月練馬区設置）。
●上野駅で戦災孤児の「狩りこみ」、五〇人保護。

6（火）●GHQ、南氷洋での母船式捕鯨を認可。

7（水）●ローマ法王が日本のカトリック教会再建に二万ドル贈与とGHQ発表。

8（木）●閣議、軍需補償打ち切りの方針を決定。

9（金）●東京バレエ団が日本で初めて「白鳥の湖」上演。
●第一回国民体育大会夏季大会が宝塚市で開幕（11月1日秋季）。

10（土）●上野駅前露店の出店許可取り消し、撤去開始。

11（日）●第二次農地改革案発表。二〇〇万町歩を解放。

12（月）●経済安定本部（安本）発足。

13（火）●尾道鉄道石畦駅で転覆事故。一三八人死傷。

14（水）●「二五日は再建出発の日」と首相がラジオ演説。

15（木）●全国中等学校優勝野球大会が復活。

16（金）●経済団体連合会（経団連）創立。

17（土）●国民学校の訓導に「ローマ字教へ方講習会」。

18（日）●吉田茂、自由党総裁に正式決定。

19（月）●全日本産業別労働組合（産別）会議結成。

20（火）●女性絞殺容疑で小平義雄を逮捕（小平事件）。

21（水）●GHQ、日本人の栄養状態は好転と発表。
●夏の甲子園で浪華商業が京都二中破り優勝。

22（木）●財閥解体の機関、持株会社整理委員会が発足。

23（金）●GHQ、輸入大豆による味噌などの配給指示。

24（土）●衆院、憲法改正案を可決。
●東京帝大に社会科学研究所が設置される。

25（日）●東京で青果・魚介の闇取締りが始まる。

26（月）●皇太子の家庭教師にE・ヴァイニングと発表。

27（火）●国鉄総連、馘首問題の交渉打ち切りを通告。

28（水）●性病対策に初の全国一斉街娼取締り。
●北朝鮮労働党結成（11月南朝鮮労働党結成）。

29（木）●J・デュヴィヴィエ監督「運命の饗宴」封切。

30（金）●GHQ、政府にララ物資の配分につき指令。
●東京・中野で配給小麦粉から中毒事件。

31（土）●米、八億ドルの余剰物資を中国へ譲渡協議。

▲焼け跡に復活した大衆娯楽（9月9日）東京の有楽座で、新演伎座の長谷川一夫・山田五十鈴共演による「藤十郎の恋」ほか2本が上演され、娯楽に飢えていた人々が殺到した。楽屋でのひととき。8日初日の予定が「猛稽古のため」順延になった。

毎日新聞社

共同通信社

▲1日だけの学校給食（9月2日）深刻な食糧不足の中、弁当を持参できない生徒も多かった。そこで始業式のこの日、ＧＨＱ放出の小麦粉によるコッペパンが、全国の児童に配給された。学校給食は翌年1月、全国約3600校の国民学校を中心に始まる。東京・京橋で。

PPS

▲ＩＭＦと世界銀行初総会（9月27日）加盟39ヵ国とオーストラリア、ベネズエラなど4ヵ国が出席してワシントンで開かれ、ドル中心の戦後通貨体制が第一歩。旧枢軸国イタリアの参加も承認された。

毎日新聞社

▶日本棋院秋季大手合い（9月25日）スポーツや娯楽が急速に復興する中、春に続く秋の昇段戦が東京の河田町会館で行われ、ファンの注目を集めた。背広姿で立つ坂田栄男6段、こちら向きに座る高川格7段（右から二人目）など、後の本因坊の姿も。

月刊沖縄社

▶進まぬソ連からの帰還（9月11日）シベリア、樺太などに抑留されている日本人の留守家族3000人が、ソ連大使館前でデモを行い（写真）、早期送還の実施を訴えたが、引揚げは12月からとなった。

毎日新聞社

◀嬉しい新米の配給（9月20日）昭和20年の米の収穫量は例年の約6割、40年ぶりの凶作だった。配給食糧は1割削減のまま21年を迎えるが、この日、東京・下谷で2日分の待望久しい新米が配られた。

昭和21年9月

1（日）●所得税増税で所得三〇万円超は税率九七％に。

2（月）●接待所などの転換に関する通達（集娼地域を警察の監視下に置く「赤線地帯」が成立）。
●インド首相にネルーが就任。

3（火）●「満州」の第一次引揚げ孤児が佐世保入港。

4（水）●集団拳銃強盗を繰り返した八人組を逮捕。

5（木）●今日出海の提案による第一回芸術祭開催。
●国民学校用国史教科書『くにのあゆみ』発行。

6（金）●四大財閥本社と富士産業を持株会社に指定。

7（土）●日展に行動美術会など三団体が不参加決定。

8（日）●古橋広之進、学生水上四〇〇㍍で今期世界最高四分四八秒六を記録（15日にも更新）。

9（月）●生活保護法公布（10月1日施行）。

10（火）●外国郵便の取り扱いが再開される。
●尾崎秀実『愛情はふる星のごとく』刊行。

11（水）●ＧＨＱ、連合軍将兵が日本人の財産に与えた損害の賠償請求権を拒否。
●ソ連大使館に抑留留守家族三〇〇〇人がデモ。

12（木）●ソ連が日ソ貿易再開を正式提案と判明。

13（金）●武道振興の全国組織、大日本武徳会が解散。

14（土）●国鉄総連、馘首反対のゼネスト中止を指令。
●ＧＨＱ、戦災・引揚げ者に絹の寝具三二万組を優先配給と指令。

15（日）●結核予防運動始まり、Ｘ線自動車で街頭検診。

16（月）●茨城県の病院でヘロイン七〇〇〇万㌦分発見。

17（火）●横浜市で、住友財閥当主の長女が誘拐される（23日犯人逮捕）。

18（水）●厚生省、年末までの失業者五六〇万人と推定。

19（木）●国鉄田町駅で駅員が不正乗車の疑いで乗客と口論になり乗客を撲殺。

20（金）●全日本海員組合のゼネスト終結。馘首を撤回。
●第一回カンヌ映画祭、開催。

21（土）●警視庁、戦後最大規模の「不良狩り」を行う。

22（日）●羽越本線坂町駅で買い出しの五〇人が警官と乱闘。警官二〇人負傷。一四人検挙。

23（月）●復員庁など、海外残留者二〇七万人と集計。

24（火）●東京帝大の学生らが下宿人連合結成と新聞に。

25（水）●甘藷の翌年度主食代替配給用、四億貫の計画。

26（木）●新聞通信放送労組、読売と北海道新聞争議を支援し翌月五日にゼネスト突入と決定。

27（金）●労働三法第二弾、労働関係調整法公布。

28（土）●電球・蝋燭の配給、好転のきざしなしと新聞に。

29（日）●御木徳近、佐賀県鳥栖町でＰＬ教団を開教。

30（月）●三井・三菱・安田、正式解散を決定。

共同通信社

▼「東京ローズ」釈放（10月25日）日本の米兵向け放送に従事し、反逆罪に問われていた「東京ローズ」の一人、日系2世のアイバ戸栗が釈放された。しかし帰米後、有罪。

▲ニュルンベルク裁判、判決下る（10月1日）ドイツの戦争責任と戦争犯罪を追及する裁判で、ゲーリング、リッベントロップら12人が絞首刑。刑の執行は16日。

朝日新聞社

▲バイオリニスト諏訪根自子、帰朝演奏会（10月3日）ドイツ留学中、ゲッベルス宣伝相から贈られたストラディバリウスで演奏した。昭和11年渡欧、20年帰国。

毎日新聞社

▲バス住宅、出現（10月）厚生省の調査では空襲の被害を受けた住宅は、半焼・半壊を含めて全国で246万戸。住宅不足はいっこうに解消されず、東京の焼け跡にはバスを再利用した住宅が作られた。

◀渋谷事件で軍事裁判（10月）7月19日、露店商間の争いが、台湾省民と警官隊の銃撃戦に発展。双方から死傷者43人を出した事件で、ＧＨＱは占領目的阻害を理由に台湾省民41人を起訴し、39人に有罪判決（12月）。

毎日新聞社

毎日新聞社

◀自由になった天皇の取材（10月25日）7回目の巡幸中、大垣での一幕。カメラマンが天皇の前へまわろうと、駆け抜けたが、天皇は意に介さなかった。

昭和21年10月

1（火）●東芝全労組、ゼネストに突入（〜11月24日）。
●ニュルンベルク国際軍事裁判で判決。
●Ｂ・クロスビー主演「我が道を往く」封切。
●名古屋で復興祭開催。

2（水）●生産者米価一石五五〇円、消費者米価四五〇円と閣議決定。

3（木）●在日朝鮮居留民団、結成。
●メチル中毒死増加し年一五五七人と新聞に。

4（金）●詐取した外食券の闇売りで懲役三年の判決。

5（土）●ＮＨＫでストライキ突入。新聞ストは挫折。
●マルクス『資本論』、九年ぶり第二巻刊行。

6（日）●学生の闇屋の内紛で慶大生が射殺される。

7（月）●日本国憲法、成立。

8（火）●放送ストに対抗し逓信省が放送権掌握。
●文部省、式日の教育勅語捧読の廃止を通牒。

9（水）●国民学校での男女共学が自由になる。

10（木）●全国学生自治会連合、発足。
●全炭労、北海道で六万人がゼネスト突入。

11（金）●ヴァン・デ・ヴェルデ『完全なる結婚』刊行。
●上野駅前に引揚げ者ら店舗開設と新聞に。

12（土）●東京都直営船舶工場で生活物資輸送船が竣工。

13（日）●浅草が戦後最高四〇万人の人出でにぎわう。

14（月）●ＧＨＱ、歴史授業の再開を許可。

15（火）●東宝を中心に日本映画演劇労組、ストに突入（第二次東宝争議）。

16（水）●第二次読売争議解決。三一人が「自発的退社」。

17（木）●東京府中競馬・京都淀競馬が三年ぶり復活。

18（金）●全国教組大会開催。最低俸給六〇〇円要求。

19（土）●子どもにデモ遊び・泥棒ごっこ流行と新聞に。

20（日）●スト中の映画三社労組が後楽園で「芸術復興祭」を開催。

21（月）●戦後初の正倉院御物展開幕（入場者一五万人）。

22（火）●文部省、ローマ字綴りに訓令式採用と決定。

23（水）●文部省、京大や高等師範での英才教育を廃止。

24（木）●復興貯蓄運動の目的は新生産資本蓄積と蔵相。

25（金）●日本労働組合会議（日労会議）結成。
●「東京ローズ」の一人アイバ戸栗が釈放される。

26（土）●井上円了の哲学堂が公園として開園。

27（日）●上野動物園、子ウサギ一〇〇〇羽を売り出す。

28（月）●水上生活者の住宅難対策にだるま船改造した「アパート船」出現と新聞に。

29（火）●黒澤明監督「わが青春に悔なし」封切。

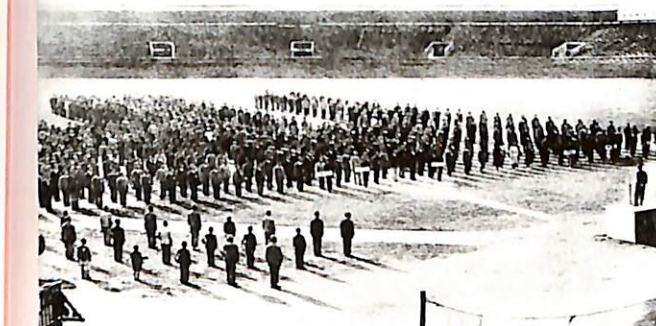
30（水）●復興資金調達のため地方宝籤の発行許可。

31（木）●闇対策で二㌔以上の米携行禁止と新聞に。

▶**街路樹の枝は薪の代用（11月21日）**一般家庭でも深刻な燃料不足のこの時期、普段は捨てられる枝も炊事や暖房用に使われた。写真は街路樹の枝を払う警官。東京・日比谷で。

毎日新聞社

◀**双葉山断髪式（11月19日）**前年秋場所千秋楽で引退を届け出た双葉山が、両国のメモリアル・ホール（国技館）で、横綱羽黒山・照国を従えた最後の土俵入りと断髪式を行った。69連勝は不滅。

◀**第1回国体開催（11月1日）**スポーツによる戦後復興を目的に、京阪神で水泳の夏季大会、陸上競技、野球などの秋季大会（写真）が行われ、7000人が個人参加。3回目から都道府県対抗となった。

共同通信社

▶**米国原爆障害調査委員会創設（11月）**原爆の放射線による障害を調査研究してきた委員会が、米学士院学術会議によって広島と長崎に創設され、翌年3月から調査を開始した。写真はその研究用列車で、左手前は被爆者診療に奔走した都築正男。

毎日新聞社

▶**日本国憲法公布記念祝賀大会（11月3日）**GHQ草案をもとにした憲法改正案は、6月20日、第90帝国議会に提出され、10月7日に可決成立。東京では宮城前に10万人が集まり、祝賀大会が開かれた。写真は挨拶する天皇、皇后。

共同通信社

昭和21年11月

1（金）●主食の配給が二合五勺に増配される。●雑誌「アメリカ映画」（編集・飯島正）創刊。●第一回医師国家試験実施。三二〇人が受験。●大阪復興祭開催（〜10日）。
2（土）●「プラカード事件」の松島松太郎に名誉毀損で懲役八ヵ月の判決。不敬罪は否定。
3（日）●日本国憲法公布。
4（月）●国連教育科学文化機関（ユネスコ）発足。
5（火）●プロ野球で近畿優勝。最高殊勲は山本一人。
6（水）●GHQ、隣組通じた神社の寄付金集めを厳禁。●レイテ島に二〇〇〇人が生存と判明。
7（木）●南氷洋捕鯨の先陣、日本水産の船団が出港。
8（金）●政府、公職追放の範囲を地方に拡大。
9（土）●警察制度審議会で警察民主化の四試案提示。
10（日）●石炭不足で旅客列車を一六％削減。●仏国民議会選挙で共産党が第一党になる。
11（月）●住宅難緩和に大邸宅を強制開放と復興院通牒。●政府、戦中の戦死保険・障害保険を補償。
12（火）●東京・築地署、幽霊人口一〇〇人を捏造し米を不正に受給した土木飯場の八人を検挙。
13（水）●大河内伝次郎・原節子らが東宝スト反対声明。
14（木）●地方制度審、五大都市を府県から独立と決議。
15（金）●東京・池袋で日映演労組員が「闇の女」と誤認され検診を強制される。一千余人抗議デモ。
16（土）●現代かなづかいと当用漢字表を告示。
17（日）●家庭への昼間送電一時停止など電力制限強化。●警視庁、強盗・放火犯を懸賞金つき指名手配。
18（月）●警察改革大綱なる。消防を警察機構から分離。
19（火）●元横綱双葉山の断髪式挙行。
20（水）●日本商工会議所（会頭・高橋龍太郎）設立。●前進座、「レ・ミゼラブル」の巡回公演開始。
21（木）●朝日新聞が「新かな」による紙面作り始める。
22（金）●GHQ、学校給食用に日本陸軍貯蔵食肉五〇〇〇トンを供給と発表。●日本橋三越ホールが開場。
23（土）●東京自立劇団協議会結成（一〇五劇団加盟）。
24（日）●全日本進駐軍要員労働組合結成。
25（月）●ソ連抑留日本人宛郵便の取り扱い開始。
26（火）●一〇大財閥の全資産を持株会社整理委に移管。
27（水）●都区整理委、三五区を二二区に統合と決定。
28（木）●銀行の割増金つき定期預金が復活。
29（金）●芸妓の労組、東京芸妓連合会が結成される。
30（土）●ミルク・衣類などララ物資第一便四五〇トンが横浜港に到着。

▼**「話の泉」スタート（12月3日）**米国の「インフォメーション・プリーズ」をヒントにした日本初のラジオ・クイズ番組。司会の和田信賢と堀内敬三、渡辺紳一郎ら解答者とのやりとりが人気となり、39年3月まで続いた。

毎日新聞社

▲**ソ連軍占領地からの引揚げ開始（12月5日）**米軍が占領した地域以外からの復員・引揚げは手間取った。ようやくこの日、樺太からの「雲仙丸」（写真）が1927人を乗せて函館に入港。シベリア引揚げ第1船も8日、舞鶴入港。

共同通信社

▲**第1次インドシナ戦争、ハノイ陥落（12月20日）**フランス軍は、ホー政権との暫定協定を破り、ハイフォン爆撃など全面的な軍事行動を開始し、この日ハノイを占領した。左から二人目は作戦の指揮をとるホー・チ・ミン。

毎日新聞社

▲**歳末の街に登場、街頭パチンコ（12月）**名古屋の飛行機工場のベアリングが業者に払い下げられて戦後のパチンコが復活し、東京・大阪などの都市には店もできた。昭和23年の東京では客の7割が子ども。

毎日新聞社

▲**廃墟の中の栄光、東大ラグビー部（12月1日）**10月から始まった5大学対抗戦は、明大に惜敗したものの、早大、慶大、立大を下し、明大とともに3勝1敗同率で念願の初優勝をはたした。写真は慶大戦。

▶**命がけの通勤・通学電車（11月）**空襲での施設・車両の破損や老朽化に石炭不足が加わり、どの路線も運行本数は少なかった。鉄道各社は、年数回のダイヤ改正で混雑緩和をはかったが効果はなかった。写真は西武鉄道国分寺駅。

毎日新聞社

昭和21年12月

1（日）●全教組支持の全国父兄大会開催。一万人参加。
2（月）●内務省、特殊飲食店の指定を指示。●東京都民に正月用餅米を一人一キロ配給と発表。
3（火）●初のラジオ・クイズ番組「話の泉」放送開始。
4（水）●関東大学バスケットリーグで東大優勝。
5（木）●樺太（サハリン）からの引揚げ第一船「雲仙丸」が函館港に入港。●福井県が復興宝籤発売。初の地方籤。
6（金）●労使協力で「経済復興会議」第一回準備委開く。
7（土）●川崎重工・日産など四〇社を持株会社に指定。
8（日）●シベリアからの引揚げ第一船が舞鶴入港。
9（月）●都教育労働協会の一部が学校自主管理に突入。
10（火）●GHQ、地震予知の地震学研究所設立を発表。
11（水）●東京都立結婚相談所が銀座の三越に復活。
12（木）●名鉄・新名古屋駅、漏電により全焼。●皇室財産は一五億六〇〇〇万円と国務相発表。
13（金）●大河内伝次郎・山田五十鈴らの東宝第三組合が新会社「新東宝」設立を決定。
14（土）●産報などの役職員三万人を労働団体から追放。
15（日）●私娼無差別摘発に抗議し女性を守る会結成。●溝口健二監督「歌麿をめぐる五人の女」封切。
16（月）●東京・秋葉原に「模範神田小売り市場」開店。
17（火）●吉田内閣打倒国民大会開催。五〇万人が参加。●横浜正金銀行の後継として東京銀行設立。●ヒッチコック監督「疑惑の影」封切。
18（水）●極東委員会、労働組合に関する一六原則決定。
19（木）●GHQとソ連が在ソ邦人引揚げ協定調印。
20（金）●商工省、都市ガス使用を一日一時間に制限。●ベトナムのホー・チ・ミン主席、対仏徹底抗戦を宣言。第一次インドシナ戦争に突入。
21（土）●南海道大地震。死亡・行方不明一四四三人。
22（日）●教員組合を統合し全日本教員組合協議会結成。
23（月）●ララ物資二二万トンが都内各施設に配布される。
24（火）●国際五輪委、第一四回ロンドン大会に日独の不参加決定と発表。
25（水）●東京急行争議、会社が六六〇万円貸与で解決。
26（木）●GHQ、ソ連抑留者帰国は月五万人と発表。
27（金）●閣議、石炭・鉄鋼中心の傾斜生産方式に転換。
28（土）●沼津駅周辺で一斉闇取締り。一千余人検挙。●燃料不足で運行半減の東急バスが「お急ぎの方はお歩きください」の珍看板と新聞に。
29（日）●東京で労組代表二〇〇人が生産危機突破大会。
30（月）●教育刷新委、六・三・三・四制採用を発表。
31（火）●米軍管理地域からの引揚げが終了する。

我楽多市

流行語
新時代のサクセス・シンボル

「ニューフェース」。この年六月、東宝が映画の新人を〝ニューフェース〟と銘打って募集、応募者は四〇〇〇人におよび、男女四八人が合格した。その中には三船敏郎（二六）、久我美子（一五）などもいた。以後、この言葉は戦後のサクセス・シンボルとして定着した。

「アルバイト」。「大学新聞」の四月一一日号で、この言葉が初めて使われた。その後、あっという間に広がり、翌年には文部省の公文書にも、マスコミの報道にも頻繁に登場するなど早くも日本語として定着した。

「鉄のカーテン」。イギリスのチャーチル前首相が米国訪問中、ウエストミンスター大学での演説で、共産圏と自由主義圏の間にできつつある障壁を〝鉄のカーテン〟と表現したことから世界中で用いられた。

「オンリー」。パンパン（街娼）用語で、特定の占領軍兵士の〝契約妻〟になること。オンリー・ワン（またはユー）という意味からきた。

「モグラ」。畑の作物を盗む野荒らしのことで、東京近郊の農村では、買い出しに来て盗むものをさした。都会の人間はモグラのように地面を這いまわって盗むからという。

◀ドレスメーカー女学院や文化服装学院への入学希望者が殺到し、7月服装研究をうたう「装苑」が復刊。 文化出版局

健康
続発する砂糖不足の糖尿病

従来、糖尿病と言えば糖分過多で発病するのがほとんどだったが、最近はこれがすっかり姿を消して、逆に糖分不足の欠糖病というのが臨床医学の新しい話題になっている。この病例は医学書には以前から記載されているのだが、実際に患者が続出し始めたのは初めてで、京大でもすでに十数人の患者がいる。身体がだるく仕事が手につかず、ひどいのになると卒倒するケースもあるが、ひとかたまりの砂糖を与えると、ケロリと治るのが特徴。糖分不足の補完は砂糖に限らず、でんぷん質の食事を適当に摂ればよいのだが、それすらままならないところから、この流行となったという。

（「朝日新聞大阪版」八月二四日）

CM100年

雑誌CM『簡易家庭療法薬オゾ』（都南荘）

▲傷薬オゾの広告が、占領軍の兵士や家族向けに英語を使って作られた。

文化
ドロナワ式にできた童謡「みかんの花咲く丘」

昭和二一年八月二五日、NHKラジオで東京の本局と、静岡県伊東市の国民学校を結ぶ二元放送が実施された。

放送の前日、伊東から出演することになっていた海沼実（作曲家）にNHKから突然、「川田正子さんの歌で静岡にふさわしい童謡を」という依頼があった。伊東出発まで二時間しかない。海沼はたまたま自宅を訪ねてきた作詞家の加藤省吾に「二〇分で詞を作れ」と命じ、できあがった歌詞をカバンに入れて急行列車に飛び乗った。汽車が小田原に近づいた頃、ふとベルディの歌劇「椿姫」の一節にヒントを得て曲が完成。

その歌を伊東の旅館で、川田正子に口うつしで教え、ようやく本番に間に合わせた。

これが大反響を呼び、昭和史に残る名童謡となった。

（「神奈川新聞」昭和六三年六月二七日）

◀「少年クラブ」七月号から横井福次郎の「ふしぎな国のプッチャー」が連載開始。

データ
三食、米飯を食べるのは会社重役だけ

食糧不足の中で都民はどんな食事をしているか、警視庁保安部が調査した。結果は？

・一日三食、米飯を食べている家庭＝会社重役一〇〇％、商人四七％、労働者二二％、会社員・無職一一％、官公吏〇・七％

・一日中、代用食で暮らしている家庭（全然米なし、パン、すいとんなどからぬかだんご、菜っ葉汁など）＝無職一九％、会社員一一％、労働者一一％、商人五％

闇買い、物々交換などによって食糧を入手しているもの＝全体の九五％。

（朝日ジャーナル編『女の戦後史 I』）

はやり歌

リンゴの唄

作詞 サトウハチロー
作曲 万城目 正

赤いリンゴに　くちびるよせて
だまって見ている　青い空
リンゴはなんにも
言わないけれど
リンゴの気持ちは　よくわかる
リンゴかわいや　かわいやリンゴ
あの娘よい子だ　気立てのよい娘
リンゴによく似た　かわいい娘
どなたがいったか
うれしいうわさ
かるいクシャミも　とんで出る
リンゴかわいや　かわいやリンゴ
歌いましょうか　リンゴの歌を
二人で歌えば　なおたのし
みんなで歌えば
なおなおうれし
リンゴの気持ちを　伝えようか
リンゴかわいや　かわいやリンゴ

▶「リンゴの唄」の楽譜。戦後歌謡曲の第一号として、レコードが一月に発売され、新人・並木路子は国民的歌手になった。 福田俊二（2点とも）

かえり船

作詞 清水みのる
作曲 倉若晴生

波の背の背に　揺られて揺れて
月の潮路の　かえり船
霞む故国よ　小島の沖じゃ
夢もわびしく　よみがえる
捨てた未練が　未練となって
今も昔の　切なさよ
瞼合わせりゃ　瞼にしみる
霧の波止場の　銅鑼の音
熱いなみだも　故国に着けば
うれし涙と　変わるだろ
鷗ゆくなら　男のこころ
せめてあの娘に　つたえてよ

◀一五年の「別れ船」に続く船シリーズの一曲。「バタヤン」こと田端義夫のテイチク移籍第一作で大ヒット。

三面記事
万引きには勝てず店じまい

▲戦時中は禁止されていたパーマネントの技術を競うコンクールが、東京・浅草公会堂で行われた。12月17日。参加者53人。 朝日新聞社

書籍と美術で知られた銀座の老舗「三昧堂」が、連日の万引きに耐えられず八月限りで閉店した。同書店に万引きはつきものだが、同書店では戦前は一週間に数人だった万引きが、終戦とともに一日平均七、八人に達し、被害高は急増、多い時には売り上げの一割にも達した。万引きを働くのは内務省官吏、警察官、学生、女子事務員などさまざまだが、戦前に比べて年齢がぐっと若くなった。しかも捕まえても反省の色もなく「買えば文句はあるまい」と金を出すなど、強気な万引きも登場。なかには空の買い物袋を提げて来て、一五冊の本を手当たり次第に盗んだ保険会社の女子事務員、田舎へ買い出しに行く交換品として、小説『銭形平次捕物控』二二冊を万引きした主婦などもいたという。

（「朝日新聞」九月二日）

相撲
米軍女性士官の前で二度ものチン事

二一年四月、大相撲は京都で準本場所を開催した。初日から人気は上々で、特に米軍の女性士官の見物が多かった。彼女たちは支度部屋までやって来て「力士とは日本人の中の何種族なのか」「ヤング力士マンの集団生活に同性愛はあるか」などと熱心に質問した。

ところが四日目、この日も大勢の女性士官が見守る中で、チンがポロリのチン事が二度も起こった。最初は十両の明瀬川と達ノ里の対戦で、明瀬川の前ミツがバラッとズレ落ち、ポロリ。二度目は二メートル六センチの長身を誇る小結の不動岩と、前頭二枚目の五ツ海の対戦で、やはり五ツ海の前ミツがズレた。

原因はおさだまりの栄養失調で、大きなおなかが急にペシャンコになったため、相手からギュッと引きつけられると、つい回しがゆるんでしまうのである。

（「週刊文春」昭和五一年一一月六日号）

共同通信社

▲世相を反映してはやった「パンパン遊び」。GI帽子で男装した女の子と腕組み。

風俗
あるはずのない遊廓のぼろもうけ

昭和二一年九月、東京・吉原には六八軒の業者がいて、三〇一人の女性が客を取っていた。その中に〝長者鏡五人娘〟と言われる女性がいた。要するに、もうけ頭の五人というわけである。警視庁の調べによると、その五人は（カッコ内は所属の妓楼、数字は一ヵ月の稼ぎ）、

M子（かね本）二万六四六〇円
S子（鶴の家）二万五三四〇円
K子（えびす）二万一九六〇円
T子（正金）二万一五〇〇円
Y子（正金）二万七〇〇円

このほか一万円以上が四八人、全体の平均が五七五〇円。実は一月にGHQ（連合国総司令部）の命令で公娼制度は全廃されたはずだったが、実態はこうだった。大の男が一ヵ月五〇〇円ベースとか七〇〇円ベースと言われた頃の話。

（小林大治郎・村瀬明『国家売春命令物語』）

▶木箱の内側に鉄板を張り、練った粉からパンを作る電極式パン焼き器。 東京電力池袋サービスセンター資料室

この年の初もの
米軍家庭のマネダストシュート登場

●一服屋　刻みタバコを一服分とキセルを用意し、一服一〇銭で吸わせる商売。新潟で始まり、東京にも広がった。

●女子ソフトボール　一〇月、第一回大会が大阪で開かれ、一二チームが参加。

●女性の刑務所長　東京・香蘭女学院の舎監をつとめた三田庸子が和歌山女囚刑務所の所長に就任。

世界の動き

1万7468本の真空管がコンピュータ時代の幕を開けた!
世界初の電子計算機「ENIAC」誕生

そろばんや計算尺など、計算器の歴史は古い。古代人からパスカルやライプニッツにいたるまで、さまざまな人々が計算器や計算法を考案している。しかし、一九四六年に一般に公開された電子計算機はたんなる計算の道具ではなかった。〝万能の機械〟コンピュータの時代は、この時、幕を開けたのである。

ENIACが開いたコンピュータの時代

一九四六年(昭和二一)二月一五日、フィラデルフィアのペンシルベニア大学、ムーア校に、異様などよめきが響いた。この日、世界最初のコンピュータとされる「ENIAC(エニアック)(Electronic Numerical Integrator and Computer)」が、政府や軍部の高官、報道関係者約二〇〇人に公開されたのだ。

衆人環視の中、実験的に行われた「九万七三六七の五〇〇〇乗」という計算を、ENIACは一瞬で完了。見学者にわかりやすく説明するため、わざわざスピードを落として再実験された。

「タイムズ」誌はこの実験に対し「電子計算機、一瞬にして計算。工学技術を促進するか」との見出しをつけ、「一〇〇人の専門家が一年かかる問題を、二時間で解いた」と紹介している。

その後、ENIACは陸軍に受け渡され、おもに大砲の弾道計算に使われた。それまでの機械的な微分解析機は一本の弾道の算定に一〇分から二〇分はかかったが、ENIACは、これをわずか三秒ほどで終わらせてしまうのだ。

ENIACの制作者は、ペンシルベニア大学、ムーア校のJ・W・モークリー(三八)とJ・P・エッカート(二七)の二人。その費用は、四八万六八〇四ドルだった。

ただ、マシンの大きさはとほうもなく、全長三〇メートル、重さ三〇トン。総面積は一七〇平方メートルという巨大なものだった。これには一万七四六八本の真空管と一万個のコンデンサ、六〇〇〇個のスイッチが使われていた。アバディーン陸軍弾道研究所へ移動する時、設置していたペンシルベニア大学の壁を壊して搬出したという伝説が残っている。

マシンが巨大なために、保守も並大抵の苦労ではなかった。真空管やコンデンサ、スイッチなどをつなぐ無数の電線をネズミに食いちぎられてしまうのも、故障の原因のひとつだった。そこで、飢えたネズミに何種類もの電線を与えて実験、ネズミが好む電線の使用をやめ、嫌がる素材を真空管や配電盤の接続に使うなど細かな配慮もなされた。

コンピュータの黎明(れいめい)期に詳しい(株)ネットワークニュース社主幹・竹田義則氏はこう言う。

「パンチカードを使ったアナログ計算機の数千倍の速度で計算ができるENIACは、当時としては驚異的でした。もっとも能力的には片手に乗る現在のノートパソコンにもおよびませんが、すべてはここから始まったのです」

プログラムを瞬時に変更「ノイマン型」への進化

しかし開発者たちは、ENIACには不満があった。ENIACはメモリ(内部記憶装置)をほとんど持たず、違う計算をするには多数のプラグを手で抜き差ししてプログラムを変える必要があった。

ENIACを作ったモークリーとエッカート、そして途中から制作に参加した

▶ノイマンは、水爆の開発にも加わった。PPS

▲ENIACは真空管の故障が多かった、とも伝えられるが、その原因は陸軍の官僚的な規則にあった。本来、電源を落としてはいけない機械なのに、毎晩スイッチを切ったため、過電圧が加わって故障が激増したのだ。 CORBIS-BETTMANN/PPS

外から見たNIPPON

人類学者ベネディクトの"敵国"研究の成果『菊と刀』

——佐伯 修

「日本人はアメリカがこれまでに国をあげて戦った敵の中で、最も気心の知れない敵であった。大国を敵とする戦いで、これほどはなはだしく異った行動と思想の習慣を考慮の中に置く必要に迫られたことは、今までにないことであった。（中略）西洋諸国が人間の本性に属することがらとして承認するにいたった戦時慣例は、明らかに日本人の眼中には存在しなかった。（中略）われわれは、敵の行動に対処するために、敵の行動を理解せねばならなかった」（長谷川松治訳）

日本論・日本人論の古典としてあまりにも名高い、ルース・ベネディクト（一八八七～一九四八）の『菊と刀』は、右のようなその冒頭の記述にも見られるように、第二次世界大戦中の、アメリカによる"敵国"研究の成果として、この年に刊行された。

あまりにも言いふるされたことではあるが、このベネディクトをはじめ、ライシャワー、サイデンステッカーらの、今日なお検討に値する日本研究が、日米戦争下に数多く手がけられたことは、同時期の日本に、まともなアメリカ研究が存在しなかったことと、際立った対照を示している。「敵を知り、己れを知れば、百戦危うからず」という『孫子』の兵法を身をもって実践したのは、日本ではなく、アメリカだった。

外科医の父と、教師の母の間に生まれ、いったん教職につき、結婚後、あらためて文化人類学という新たな学問に志したルースは、戦前、多くの民族調査を行い、『文化の型』（一九三四年）などの著書によって、すでに学界で不動の地位を築き上げていた。

そんな彼女に、合衆国戦時情報局から研究が委嘱されたのは一九四三年である。独身時代、カリフォルニアで日系移民たちの姿を眼にしていたとはいえ、日本は、彼女にとって未知の国にひとしかった。彼女は、活字とインタビュー、日本映画などを手がかりに、ほとんどゼロから、日本の国民性についての研究を進めていったという。そして、ついに日本の土を踏むことなく、戦後の日本の復興も知らずに世を去った。

以下、日本刀の象徴的意味に関する一節。

「自己責任ということは日本においては、自由なアメリカよりも、遥かに徹底して解釈されている。こういう日本的な意味において、刀は攻撃の象徴ではなくして、理想的な、立派に自己の行為の責任を取る人間の比喩となる。個人の自由を尊重する時代において、この徳は最もすぐれた平衡論の役目を果たす」

▶コロンビア大学教授をつとめ、一九四八年に死去。

社会思想社提供

ジョン・フォン・ノイマンらはENIACの完成以前から、このような手作業なしで、別のプログラムを稼働させるコンピュータEDVACの作成を進めていた。

ノイマンは一九〇三年、ハンガリー生まれで、ENIACの制作に参加した一九四四年には、すでに世界的に著名な数学者であった。彼は四五～四六年にEDVACの基本構想をまとめている。この時、プログラム可変内蔵方式を明確に打ち出したことから、以来、今日にいたるまで、この型のコンピュータは「ノイマン型」と呼ばれている。

しかし、世界で初めて、ノイマン型コンピュータとして完成したのはEDVACではなかった。ノイマン、エッカートなど、開発関係者の意見の対立で、EDVAC制作は大幅に遅れていたのだ。

機械式の計算機製造が精一杯だった日本企業にとって、「ENIAC完成」の新聞報道は大きな衝撃だった。通産省の助成金を受けた富士通は、さっそく、アメリカからコンピュータに関する資料を取り寄せたが、その価格が約三〇万円。当時の初任給が一〇〇〇円前後だから、三〇〇人の新入社員の給料に相当する巨額なものだった。ENIACの誕生がそれだけの巨額な投資を決断させたのだ。

一方、イギリスのケンブリッジ大学で、EDVACの基本構想をもとに制作されたのがEDSACである。

「コンピュータをどう定義するかで変わってきますが、プログラム可変内蔵方式こそコンピュータだとする人たちは、このEDSACが世界初のコンピュータと主張しています」（竹田氏）

プログラムを瞬時に変更できるノイマン型コンピュータの登場によって、プログラム、つまりソフトウェアの重要性とむずかしさがあらためて認識された。ここから、現在につながるプログラミングの基礎が確立されたのである。

高速の計算機としてスタートしたコンピュータは、ノイマン型の登場により、コミュニケーションや文書作成、セキュリティまで、どんなことでもこなせる"万能の機械"へと進化していくのである。

ジョン・フォン・ノイマン（1903～1957）
ハンガリーの数学者。一九三〇年、米プリンストン大学教授。『量子力学の数学的基礎』『ゲームの理論と経済行動』などを著す。

▶一九五二年、プリンストン高等研究所で、EDVACコンピュータ完成式当日のノイマン。左はオッペンハイマー。

CORBIS-BETTMANN PPS

往きて還らぬ

▲9月21日 伊丹万作（46）
映画監督。昭和3年「仇討流転」で監督デビュー。「国士無双」などで時代劇に新風を吹きこんだ。伊丹十三は長男。

▲7月26日 坂田三吉（76）
将棋棋士。独学で"坂田流"戦法を作った。大正4年8段。死後、北条秀司の戯曲「王将」でその名が知られた。

▲4月21日 J・M・ケインズ（62）
イギリスの経済学者。その『雇用・利子及び貨幣の一般理論』はケインズ革命と言われるほどの影響をおよぼした。

▲10月23日 E・T・シートン（86）
『シートン動物記』で知られるアメリカの動物物語作家で、アメリカのボーイスカウトの創始者でもある。

▲5月26日 三浦環（62）
オペラ歌手。明治36年日本初のオペラに主演、後、欧米各地で「蝶々夫人」を歌い日本人初の国際的オペラ歌手となる。

▲1月19日 靉光（38）
洋画家。大正15年二科展に初入選。シュールレアリスム風の作品で知られる。代表作に「眼のある風景」「鳥」など。

▲11月24日 モホリ・ナジ（51）
ハンガリーの画家、彫刻家で、"構造派"の創始者の一人。芸術理論書も多く、著作に『絵画・写真・映画』など。

▲8月16日 伏見宮博恭（70）
伏見宮貞愛王の第1王子。ドイツ海軍大学校などで学び、帰国後海軍の近代化につとめた。昭和7年海軍元帥。

▲6月27日 松岡洋右（66）
昭和一五年第二次近衛内閣の外相に就任し、日独伊三国同盟を締結。戦後A級戦犯として起訴され、出廷中に肺結核が悪化して死亡。

▲1月30日 河上肇（66）
経済学者で元京大教授。政府の商工立国論を批判し、農業の保護を訴えた。著書の『貧乏物語』はベストセラーに。

▲12月7日 川上貞奴（75）
女優。16歳で芸者となり、後、川上音二郎とともに新派演劇をおこした。国際女優"マダム貞奴"としても有名。

▲9月4日 白瀬矗（85）
探検家。明治45年日本人として初めて南極大陸の上陸に成功。その後探検費用の返済に追われ、貧窮のうちに病死。

▶3月31日 武田麟太郎（41）
小説家。昭和七年に『日本三文オペラ』を発表。庶民の哀歓を描いた佳作と評価された。二一年、雑誌「人民文庫」創刊。ほかに『銀座八丁』など。

週刊 YEAR BOOK 日録20世紀

第24号 7月22日(火)発売 定価560円
毎週火曜日発売 講談社 本体533円

1947［昭和22年］

●特集
"フジヤマのトビウオ"古橋広之進 三三回の世界新樹立へスタート！／三木鶏郎と人気ラジオ番組「日曜娯楽版」の諷刺／「主権在民」「戦争放棄」「基本的人権の尊重」日本国憲法、お祭り気分の中で施行／「入場料二〇円」に長蛇の列！ 新宿・帝都座"額縁ショー"の衝撃

●ニュース・ファイル
フォト＋日録で再現する365日…二・一ゼネスト中止命令（1月31日）／トルーマン・ドクトリン発表（3月12日）／男女共学の新学制開始（4月1日）／社会党・片山哲内閣成立（6月1日）／キャサリン台風猛威（9月）／皇籍離脱決定（10月13日）／「二十の扉」放送開始（11月1日）

●人物クローズアップ
"ブギウギの女王"笠置シヅ子

●決定的瞬間
エリザベス王女のロイヤル・ウエディング

●美の出会い
山川惣治、絵物語『少年王者』刊行

●女たちの肖像…石井桃子と『ノンちゃん雲に乗る』／勝者・敗者…マツミドリ、ダービー馬に／証言・あの日この日…中井英夫、石橋湛山／20世紀博物館…ブリキのおもちゃ博物館（神奈川）／「現場」を歩く…舞鶴、「平引揚桟橋」の復元／外から見たNIPPON…作家・呉濁流と"日本語全廃"政策

●ベストセラー…発禁本の復活『人生論ノート』『完全なる結婚』／スターと名場面…空気座「肉体の門」／モノ語り'47…「トヨペット」「自転車オートバイ」

日録20世紀専用バインダー

高級感あふれる特製バインダーを用意しました。「日録20世紀」全100巻を10冊ずつ年代順にバインダーにとじてそろえれば、「20世紀」ビジュアル百科のできあがり。10年ごとに分類するためのシールも添付。取りはずしは簡単で、整理にも便利、じょうぶな仕上がりです。あなたの書斎を飾るホーム・ライブラリーとして、永く保存してお楽しみください。バインダーは1部1300円（税別）。全国の書店でお求めください。

■既刊好評発売中

バックナンバーは、お近くの書店でお求めください。創刊号のみ282円（税別）です。直接弊社にご注文の場合は、冊数に関係なく、送料200円のご負担となります。なお、代金と送料は先にお送りください。申込先 講談社読者サービス係 電話03-5395-3676

創刊号1959［昭和34年］ 第2号1964［昭和39年］ 第3号1945［昭和20年］ 第4号1970［昭和45年］ 第5号1963［昭和38年］ 第6号1958［昭和33年］ 第7号1972［昭和47年］ 第8号1980［昭和55年］

第9号1976［昭和51年］ 第10号1989［平成元年］ 第11号1960［昭和35年］ 第12号1961［昭和36年］ 第13号1962［昭和37年］ 第14号1965［昭和40年］ 第15号1966［昭和41年］ 第16号1967［昭和42年］

第17号1968［昭和43年］ 第18号1969［昭和44年］ 第19号1941［昭和16年］ 第20号1942［昭和17年］ 第21号1943［昭和18年］ 第22号1944［昭和19年］ 第25号1948［昭和23年］ 第26号1949［昭和24年］

■今後の刊行予定

▶第27号1950［昭和25年］8月12日発売
「朝鮮特需」35億6000万ドルと日本●藤原氏4代の遺体、学術調査●「正村ゲージ」機登場でパチンコブーム●頻発する"アプレゲール犯罪"と若者たち
▶第28号1923［大正12年］8月26日発売
関東大震災、帝都を直撃●発掘！ 未公開アルバム・岡田紅陽が撮った「帝都壊滅」●山野千枝子、丸の内美容院を丸ビル内に開店●アル・カポネ売り出す
▶第29号1971［昭和46年］9月2日発売
マクドナルド1号店、銀座にオープン●元祖ネズミ講、熊本市第一相互経済研究所の"虚構"●日本、変動相場制に移行●林彪、逃亡中に墜落死の謎
▶第30号1973［昭和48年］9月9日発売
第1次石油危機、日本を直撃●白昼、東京で拉致され韓国へ運ばれた金大中事件●怪物ハイセイコー、10連勝●「8時だョ！全員集合」人気の秘密
▶第31号1974［昭和49年］9月16日発売
少女マンガの黄金時代●"金脈"をあばいた立花レポートで田中首相辞任へ●セブンイレブン開店●ニクソン大統領、ウォーターゲート事件で辞任
▶第32号1975［昭和50年］9月22日発売
赤ヘル軍団初優勝●「紅茶きのこ」と健康法ブーム●秦の始皇帝陵で兵馬俑発掘●サイゴン陥落！ 30年にわたる"ベトナム戦争"終結
▶第33号1977［昭和52年］9月30日発売
キャンディーズとピンク・レディー旋風●王貞治、ホームラン世界一を達成●"安宅マン"3400人の悲劇●ウガンダ、アミン政権の残虐恐怖政治
▶第34号1978［昭和53年］10月7日発売
日本全土で、カラオケ爆発的ブーム●新実力者・鄧小平来日●サラ金地獄が社会問題化●英国で世界初の試験管ベビー誕生
▶第35号1979［昭和54年］10月21日発売
インベーダーゲーム、大流行●大ヒット「ウォークマン」開発物語●『ジャパン・アズ・ナンバー・ワン』刊行●ホメイニ師、イランに帰国
▶第36号1951［昭和26年］10月28日発売
サンフランシスコ講和条約調印●真昼の暗黒「八海事件」●初のプロのモデルによるファッションショー●ローゼンバーグ事件の謎

ミニ事典
1946年のキーワード

公職追放
GHQ（連合国総司令部）が一月四日、「望ましからざる人物の公職罷免排除に関する覚書」を発表した。日本を非軍事国家にし、民主化を推進しようとする占領政策の具体化だった。追放該当者には戦争犯罪人、職業軍人、大政翼賛会活動家などが含まれ、自由党党首・鳩山一郎ら大物政治家を含め昭和二三年までに約二〇万人がその対象となった。

共同通信社

▲1月9日、米国のマッコイを団長とする極東委員会代表団が来日した。

極東委員会・対日理事会
極東委員会は連合国一一ヵ国（後に一三ヵ国）からなる対日占領政策最高決定機関。委員の過半数の賛成事項をGHQが実施。ただし、米・ソ・英・中四ヵ国には拒否権が認められていた。対日理事会はGHQの諮問機関。構成国は米・ソ・英・中。どちらも米ソ対立の影響で弱体化・形骸化した。

労働組合法
労働者の自由な組合結成と団結権、団体交渉権、争議権を保障する法律。三月一日施行。前年一〇月、GHQが民主化政策の一環として労働運動を促進する方針を打ち出したことが法制化の契機となった。九月には労働関係調整法、翌年四月には労働基準法公布。合わせて「労働三法」と言い、日本の労働者の権利の基本的骨格が定められていった。

持株会社整理委員会
GHQの指令で四月二〇日に公布された持株会社整理委員会令に基づいて組織された財閥解体の日本側実施機関。委員長・笹山忠夫（元日本興業銀行理事）以下委員六人で構成。三井・三菱・住友・安田らの自主的解体の後を受け、持株会社の所有する有価証券を処分し、その解散までの業務を担当した。

カストリ焼酎
本来は清酒の酒粕からとった「粕取り焼酎」を意味したが、戦後出まわったものは糀に米や芋を混ぜて発酵させ蒸気を通して抽出したアルコール分六〇度ほどもある濃厚な酒。しばしば泥酔・乱酔をもたらし、なかには工業用のメチルアルコールを混入した粗悪品もあったため、この年、失明・死亡などの事件が頻発した。

経済安定本部
食糧危機や悪性インフレの打開策として実施された新円切り替えや物価統制令などの諸施策を一元的に遂行し、経済安定政策を計画・立案するために設けられた内閣総理大臣直轄の組織。八月一二日、物価庁とともに発足。略称、安本。初代総務長官には膳桂之助が就任。統制物資の生産・配給の計画・立案も行った。

産別
三月に労働組合法が施行されると、組合運動が全国に拡大、八月一九日には産業別単位労働組合が全日本産業別労働組合（産別）会議に結集、一六三万人の組合員を傘下におさめた。産別には共産党員の幹部が多く、この年の一〇月闘争、翌年の二・一ゼネストでは労働戦線の中心勢力として活動した。しかし、GHQの保守化とともに規制対象となり、衰退していった。

▲産別会議初代議長・聴濤克巳。朝日新聞入社。共産党に入党し、新聞単一労組委員長だった。

生活保護法
生活に困窮する国民に国が最低限度の生活を保障し、その自立をうながすことを目的とした法律。九月九日公布、一〇月一日施行。前年一二月、GHQの指令で生活困窮者に対して国が衣食や医療を給付することなどを定めた緊急要領が閣議決定されたが、さらに国家保障責任の明示、無差別平等と最低生活保障の原則を採り入れることにより法制化された。

ヘロイン、ヒロポン
覚醒剤の一種。耐性と依存性が強く、いわゆるヘロイン中毒、ヒロポン中毒になりやすい。九月一六日、茨城県内の病院で時価七〇〇〇万ドルの隠匿ヘロインが発見されるなど、戦争中、飛行士などが常用した軍用物資の残りが病院を通じ大量に市中に流布、大きな社会問題となった。麻薬取締法が公布されたのは昭和二三年七月になってからである。

当用漢字と現代かなづかい
三月に来日した米教育使節団の「学問の道具（文字）を学ぶ時間を短縮し、学問をする時間を増大せよ」などの国語改革の勧告に基づき、国語審議会がかなづかい主査委員会（委員長・安藤正次）などを設置して研究。一一月一六日、政府はその答申を受け「当用漢字表」と「現代かなづかい」を公布。当用漢字は一八五〇字に制限され、書き言葉もほぼ発音どおりに書くのが原則となった。

ララ物資
アメリカの宗教団体や労働団体などが組織したララ（LARA＝Licensed Agencies for Relief in Asia アジア救済連盟）が、窮乏する日本へ送った学校給食用の食糧や衣類などの物資。一一月三〇日、第一便が横浜港に到着。栄養失調に苦しむ子どもたちを助け、太平洋戦争時に形成された日本人の反米感情の好転にはたした役割は大きかった。

朝日新聞社

▲12月23日、ララ物資で学校給食が行われた東京・永田町国民学校。

傾斜生産方式
吉田内閣が経済危機打開策として打ち出した、基礎的生産財、石炭と鉄鋼を重点的に一定の目標までに生産回復させようとする経済施策。外務省調査局の大来佐武郎がヒントを出し、石炭委員会委員長の有沢広巳がまとめた。一二月二七日、閣議決定され、翌年には石炭の生産が戦前の七六パーセントまで回復した。

共同通信社

▲傾斜生産方式に従って、まず石炭の増産が進められた。九州の三川坑で目標突破の万歳。

週刊YEAR BOOK／日録20世紀 1946
CONTENTS

●編集
講談社総合編纂局
アート・ディレクター 山口至剛
表紙デザイン 山口至剛デザイン室＋渡邉裕…
本文レイアウト デザインオフィス八起き
編集協力 有エービーシープレス 株カマル社 株コミュニケーションハウス・ケースリー シト・プロ 有マックス 有マライカ
小原伸夫 鍵和田良輔 小松邦安 佐野長成 張替政展 藤森雅弘
結城順一 吉田忠正
●写真協力
秋山庄太郎 影山光洋 影山智洋 清水勲 但馬一憲 林忠彦 林義勝 福田俊一 水野直樹
朝日新聞社 共同通信社 月刊沖縄社 高知新聞社 CORBIS BETTMANN 社会思想社 日刊スポーツ PPS 文化出版局 読売新聞社 毎日新聞社 WWP
黒澤プロ 資生堂 松竹 宝塚歌劇団 東京電力池袋サービスセンター資料室 東宝
アメリカ国防総省 映画文化協会 国連広報センター 日本カメラ博物館 日本近代文学館 日本はきもの博物館

定価560円

雑誌 23705-7/29 T1123705070563
Ⓛ-2001/1/1

印刷 凸版印刷株式会社 製本 本村製本株式会社